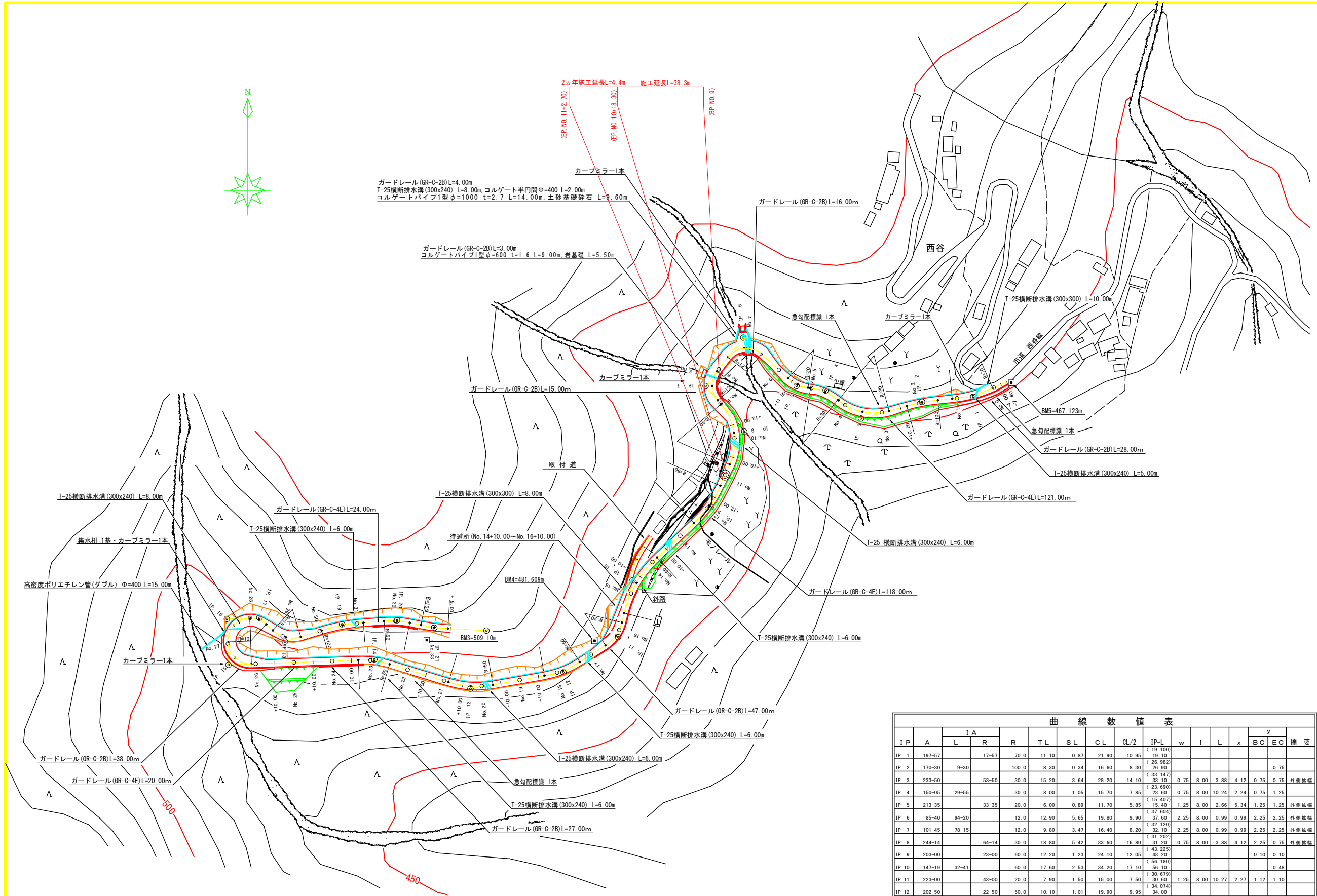




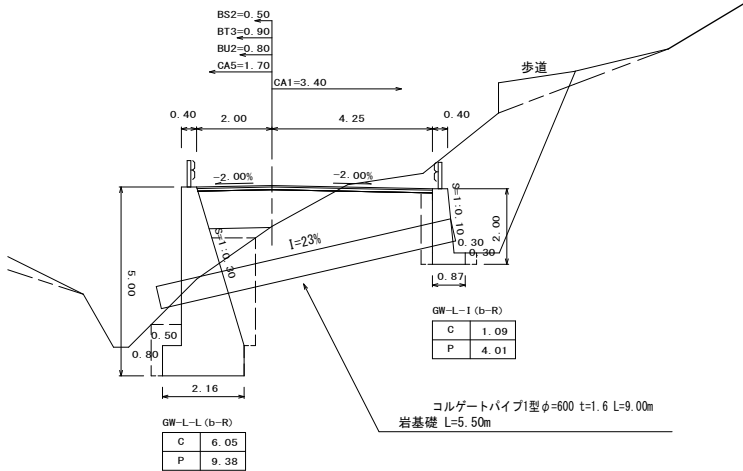
曲 線 数 値 表																
I P	A	I A		R	T L	S L	C L	C L/2	I P-L	w	I	L	x	y		摘 要
		L	R											B C	E C	
IP 1	197-57		17-57	70.0	11.10	0.87	21.90	10.95	(19.100) 19.10							
IP 2	170-30	9-30		100.0	8.30	0.34	16.60	8.30	(26.982) 26.90						0.75	
IP 3	233-50		53-50	30.0	15.20	3.64	28.20	14.10	(33.147) 33.10	0.75	8.00	3.88	4.12	0.75	0.75	外側拡張
IP 4	150-05	29-55		30.0	8.00	1.05	15.70	7.85	(23.690) 23.60	0.75	8.00	10.24	2.24	0.75	1.25	
IP 5	213-35		33-35	20.0	6.00	0.89	11.70	5.85	(15.407) 15.40	1.25	8.00	2.66	5.34	1.25	1.25	外側拡張
IP 6	85-40	94-20		12.0	12.90	5.65	19.80	9.90	(37.604) 37.60	2.25	8.00	0.99	0.99	2.25	2.25	外側拡張
IP 7	101-45	78-15		12.0	9.80	3.47	16.40	8.20	(32.120) 32.10	2.25	8.00	0.99	0.99	2.25	2.25	外側拡張
IP 8	244-14		64-14	30.0	18.80	5.42	33.60	16.80	(31.202) 31.20	0.75	8.00	3.88	4.12	2.25	0.75	外側拡張
IP 9	203-00		23-00	60.0	12.20	1.23	24.10	12.05	(43.225) 43.20					0.10	0.10	
IP 10	147-19	32-41		60.0	17.60	2.53	34.20	17.10	(66.180) 66.10						0.48	
IP 11	223-00		43-00	20.0	7.90	1.50	15.00	7.50	(30.679) 30.60	1.25	8.00	10.27	2.27	1.12	1.10	
IP 12	202-50		22-50	50.0	10.10	1.01	19.90	9.95	(34.074) 34.00							
IP 13	206-55		26-55	50.0	12.00	1.41	23.50	11.75	(49.462) 49.40							
IP 14	161-00	19-00		50.0	8.40	0.70	16.60	8.30	(52.566) 52.50							
IP 15	270-00		90-00	12.0	12.00	4.97	18.80	9.40	(76.390) 76.30	2.25	8.00	9.88	1.88	2.01	2.25	
IP 16	270-00		90-00	12.0	12.00	4.97	18.80	9.40	(24.000) 24.00	2.25	8.00	9.88	1.88	2.25	2.25	
IP 17	225-00		45-00	12.0	5.00	0.99	9.40	4.70	(17.036) 17.00	2.25	8.00	9.88	1.88	2.25	1.96	
IP 18	120-10	59-50		15.0	8.60	2.31	15.70	7.85	(18.328) 18.30	1.75	8.00	10.13	2.13	1.45	1.69	
IP 19	192-45		12-45	100.0	11.20	0.62	22.30	11.15	(31.214) 31.20							
IP 20	195-27		15-27	50.0	6.80	0.46	13.50	6.75	(28.878) 28.80					0.53	0.53	
IP 21	171-49	8-11		100.0	7.20	0.26	14.30	7.15	(19.916) 19.90							
									(27.359) 27.30							

路 線 名	押谷 2工区	線 業 名	林道開設事業		
林道区分	森林管理道	級別区分	2級	設計速度	20 km/h
年 度	令和7年度	施行主体	香美市		
名 称	平 面 図		1	葉 中	1 番
施 行 地	高知県香美市物部町岡ノ内				
縮 尺	1/1000	審 査 者		設 計 者	
会 社 名					

+ 5.00
+1.08 L= 5.00

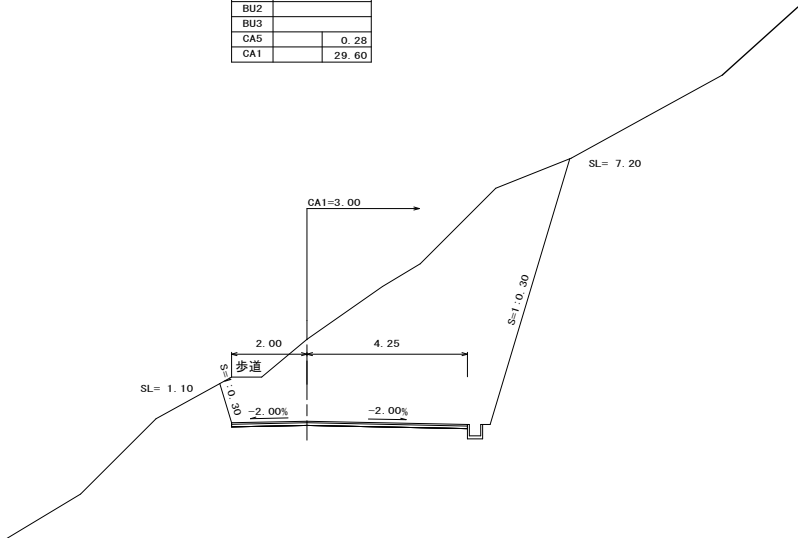
	礫	岩
BS1		
BS2	2.60	
BS3		
BT		
BT1		
BT2		
BT3	0.40	
BU	0.50(0.69)	
BU1		
BU2	2.10	
BU3		
CA5	7.00	
CA1	1.00	

BS2・L= 4.90
BT3・L= 4.85
BU2・L= 4.90
CA5・L= 4.75
CA1・L= 5.90



No. 8
-2.17 L= 7.90

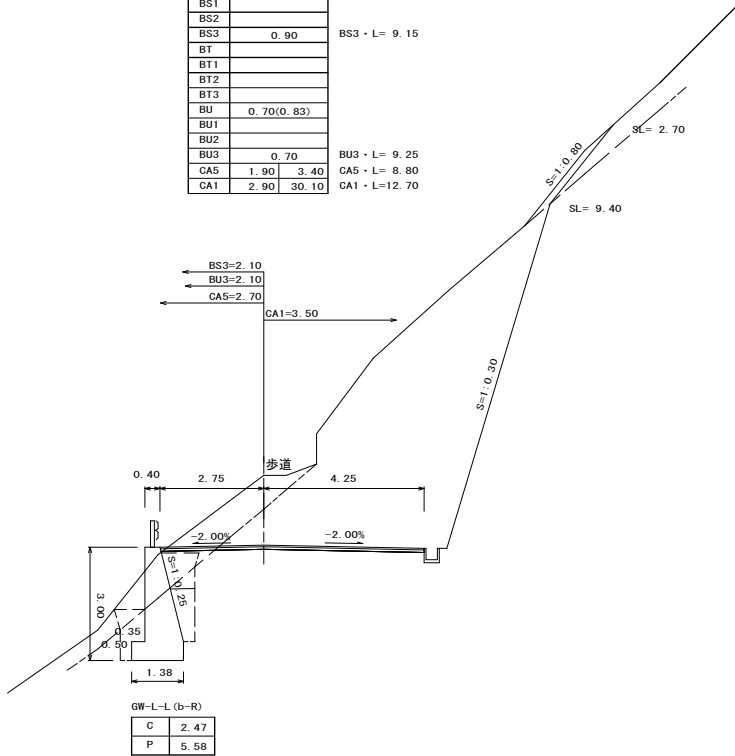
	礫	岩
BS1		
BS2		
BS3	0.06	
BT		
BT1		
BT2		
BT3		
BU	0.06(0.08)	
BU1		
BU2		
BU3		
CA5	0.28	
CA1	29.60	



No. 9
-1.85 L= 10.30

	礫	岩
BS1		
BS2		
BS3	0.90	
BT		
BT1		
BT2		
BT3		
BU	0.70(0.83)	
BU1		
BU2		
BU3	0.70	
CA5	1.90 3.40	
CA1	2.90 30.10	

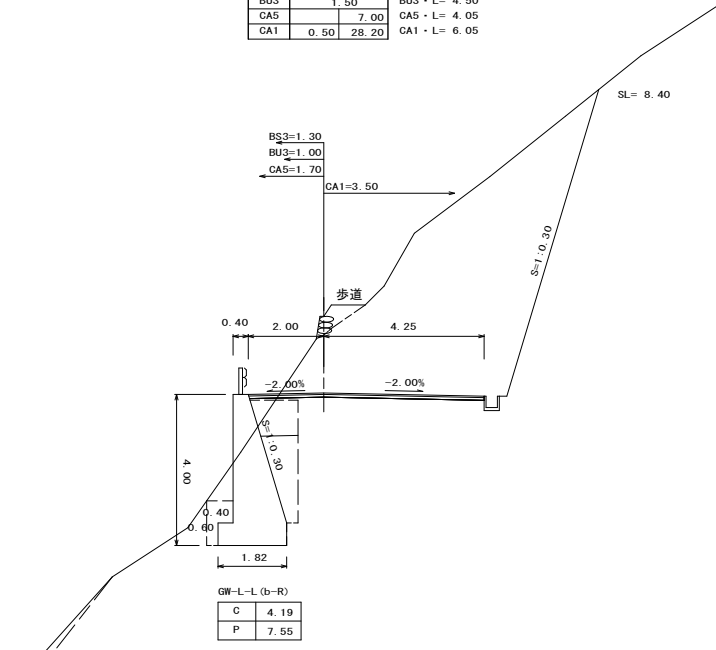
BS3・L= 9.15
BU3・L= 9.25
CA5・L= 8.80
CA1・L=12.70



MC. 7
-2.03 L= 4.70

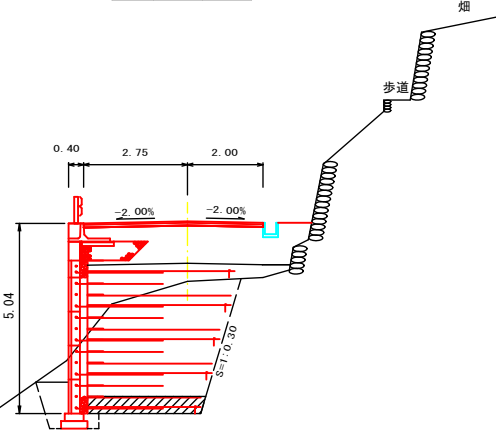
	礫	岩
BS1		
BS2		
BS3	1.10	
BT		
BT1		
BT2		
BT3		
BU	0.50(0.67)	
BU1		
BU2		
BU3	1.50	
CA5	7.00	
CA1	0.50 28.20	

BS2・L= 4.60
BS3・L= 4.45
BT3・L= 4.50
BU2・L= 4.55
BU3・L= 4.50
CA5・L= 4.05
CA1・L= 6.05



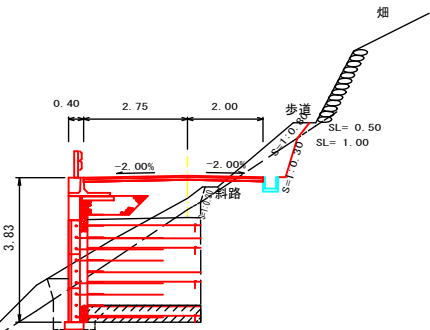
No. 10
+1.59 L= 7.00

	礫	岩
BS1	4.90	
BS2		
BS3		
BT	13.20	
BT1	1.10	
BT2		
BT3		
BU	0.60(0.70)	
BU1		
BU2		
BU3		
CA5	13.50	
CA1		



+13.00
+0.60 L= 13.00

	礫	岩
BS1	2.40	
BS2		
BS3	0.06	
BT	6.90	
BT1	0.10	
BT2		
BT3		
BU	0.30(0.43)	
BU1		
BU2		
BU3		
CA5	2.30 8.80	
CA1	0.70 0.70	



路線名	押谷 2工区	総事業名	林道開設事業
林道区分	森林管理道	級別区分	2級
年度	令和7年度	設計速度	20km/h
名称	横断図 2	施行主体	香美市
施行地	高知県香美市物部町内		
縮尺	1/100	審査者	設計者
会社名			

No. 11

+2.54 L= 10.00

	礫	岩
BS1	4.20	
BS2		
BS3		
BT	15.60	
BT1	1.00	
BT2		
BT3		
BU	0.40(0.56)	
BU1		
BU2		
BU3		
CA5	10.30	
CA1		

+13.00

+3.12 L= 13.00

	礫	岩
BS1	5.70	
BS2		
BS3		
BT	22.10	
BT1	3.50	
BT2		
BT3		
BU	0.90(1.14)	
BU1		
BU2		
BU3		
CA5	14.60	
CA1		

+10.00

+2.04 L= 10.00

	礫	岩
BS1	6.30	
BS2		
BS3		
BT	13.60	
BT1	2.20	
BT2		
BT3		
BU	0.60(0.70)	
BU1		
BU2		
BU3		
CA5	15.50	
CA1		

+2.70

+2.54 L= 2.70

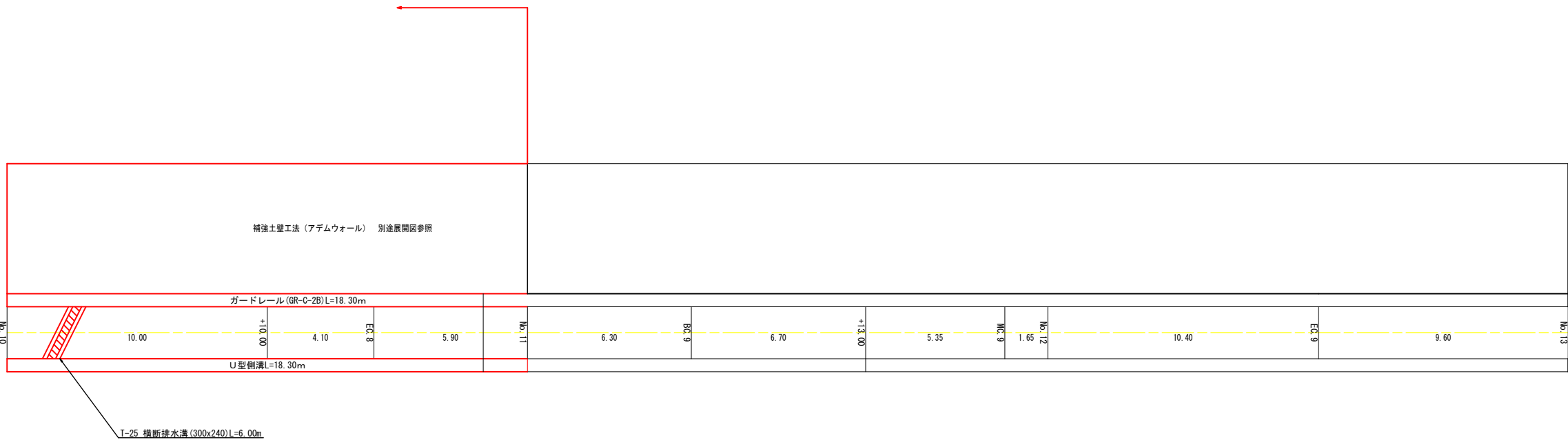
	礫	岩
BS1		
BS2		
BS3		
BT		
BT1		
BT2		
BT3		
BU		
BU1		
BU2		
BU3		
CA5	10.90	
CA1		

No. 12

+3.46 L= 7.00

	礫	岩
BS1	6.50	
BS2		
BS3		
BT	23.60	
BT1	5.20	
BT2		
BT3		
BU	0.90(1.12)	
BU1		
BU2		
BU3		
CA5	16.30	
CA1		

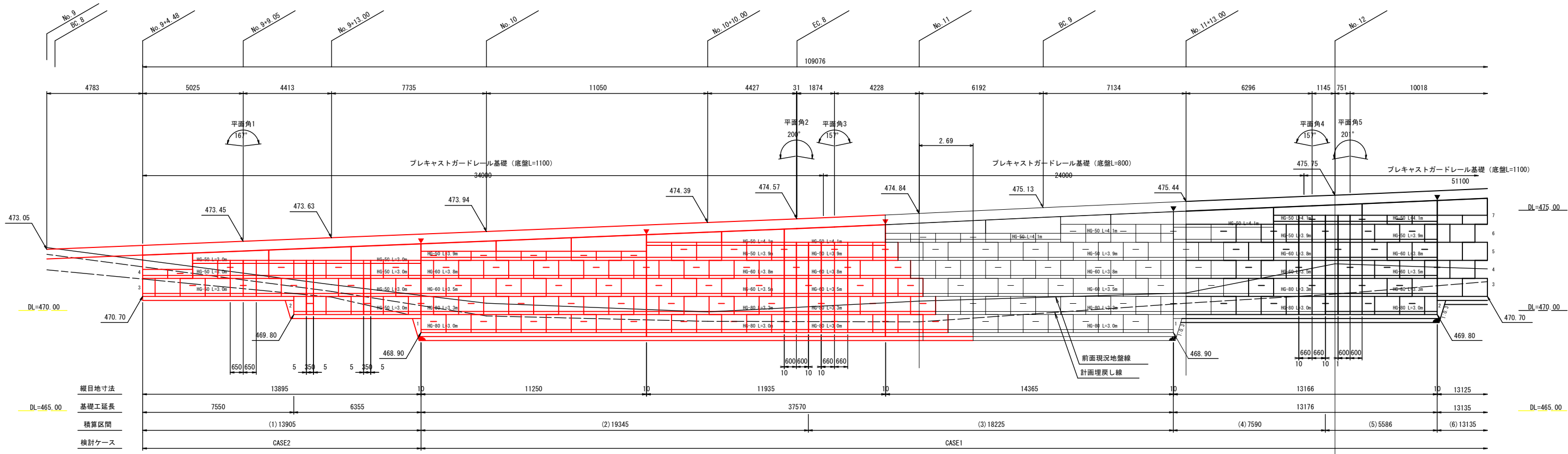
路線名	押谷 2工区	線事業名	林道開設事業		
林道区分	森林管理道	級別区分	2級	設計速度	20 km/h
年 度	令和7年度		施行主体	香美市	
名 称	横 断 図 2 案 中 2 番				
施 行 地	高知県香美市物部町岡ノ内				
縮 尺	1/100	審 査 者		設 計 者	
会 社 名					



工 種	区 分	規 格	数 量	単 位	摘 要	
土工	法面整形		97.00	m ²		
補造土壁工	アデムウォール		137.10	m ²	別添展開図による	
法面保護工	簡易法特工		97.00	m ²		
排水施設工	U型側溝	Pu1型	36.80	m	38.30-1.50(小動物保護側溝)	
	基面整正		11.50	m ²	38.80+1.50)×0.3	
	横断排水溝	T-25 (300×240)	6.00	m	路面排水用	
	小動物保護側溝		1.00	基		
	防護施設工	ガードレール	Gr-C-28曲線	38.30	m	
			Gr-C-28直線		m	
ガ-ド-レ-ル基礎	ﾌﾞﾚｯｸ-ﾄﾞﾌﾞB=1100	33.82	m			
	ﾌﾞﾚｯｸ-ﾄﾞﾌﾞB=800	4.48	m			

路線名	押谷 2工区	経事業名	林道開設事業		
林道区分	森林管理道	級別区分	2級	設計速度	2.0 km/h
年 度	令和7年度	施行主体	香美市		
名 称	展 開 図		1	葉 中	1 番
施 行 地	高知県香美市物部町岡ノ内				
縮 尺	1/100	審 査 者		設 計 者	
会 社 名					

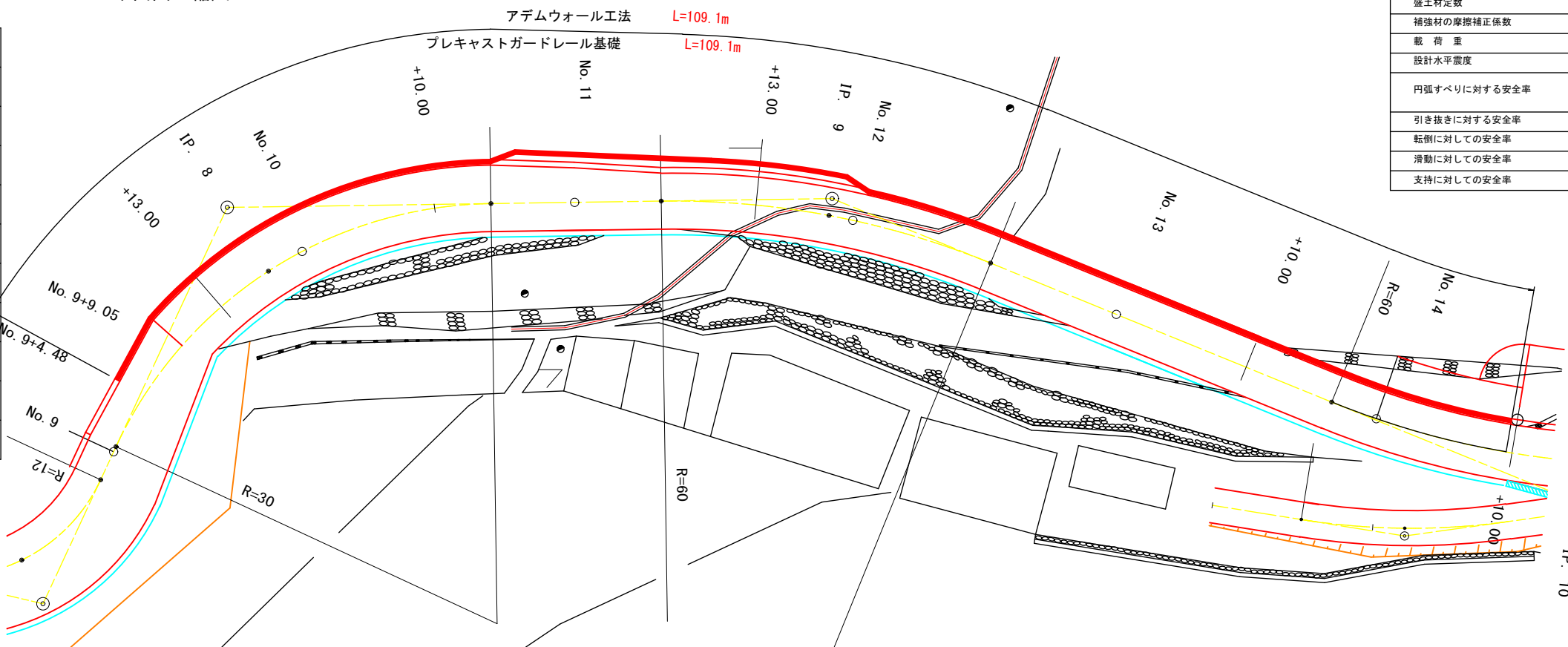
アダムウォール工法展開図(背面)(1) 縮尺 1:100
(No. 9~No. 14+10付近)



平面図 縮尺 1:200

凡 例

	壁面材		AP-900AR タイプ (W1250×H900)
			AP-900VH タイプ (W1250×H450)
			AP-900WH タイプ (W625×H900)
			AP-900SQ タイプ (W625×H450)
			AP-900LR タイプ 長さ調整用タイプ
			AP-900LH タイプ 長さ調整用タイプ
			AP-900CR タイプ 角度調整用タイプ
	補強材		ジオグリッド (主補強材)
			エンドレンフィルター (EF-3)
	目地材	t=10mm	



設計条件

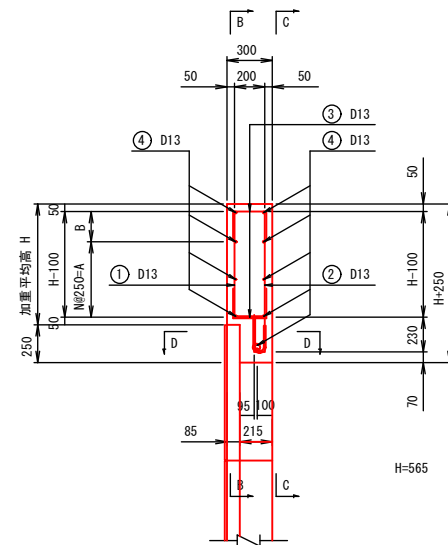
盛土材定数	$\gamma=18.0\text{ kN/m}^3$ $\phi=35^\circ$ $C_u=0.0\text{ kN/m}^2$	
補強材の摩擦補正係数	$\alpha_1=0.00$ $\alpha_2=1.00$	
載 荷 重	活荷重 $q=9\text{ kN/m}^2$	
設計水平震度	レベル1, I種, B地域	
円弧すべりに対する安全率	常 時	地震時
	$F_s \geq 1.20$	$F_s \geq 1.00$
引き抜きに対する安全率	$F_s \geq 2.00$	$F_s \geq 1.20$
転倒に対する安全率	$e \leq B/6$	$e \leq B/3$
滑動に対する安全率	$F_s \geq 1.50$	$F_s \geq 1.20$
支持に対する安全率	$F_s \geq 3.00$	$F_s \geq 2.00$

路線名	甲府 2工区	線 事 業 名	林道開設事業		
林道区分	森林管理道	級別区分	2級	設計速度	20 km/h
年 度	令和7年度	施行主体	香美市		
名 称	アダムウォール工法展開図(No. 9~No. 14+10付近)			1 葉中	1 番
施 行 地	高知県香美市物部町内ノ内				
縮 尺	1/100	審 査 者		設 計 者	
会 社 名					

笠コンクリート一般配筋図

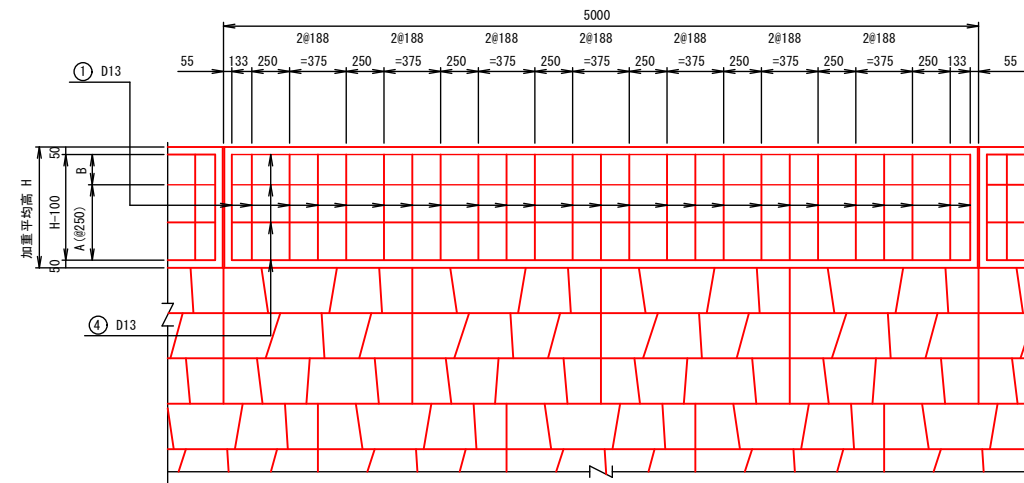
断面图 (A-A)

S=1 : 25



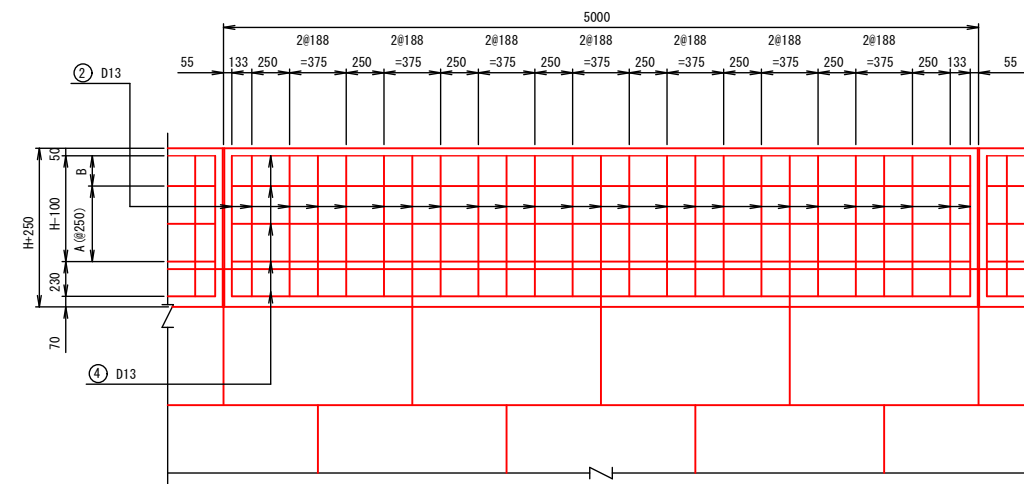
正面图 (B-B)

S=1:25



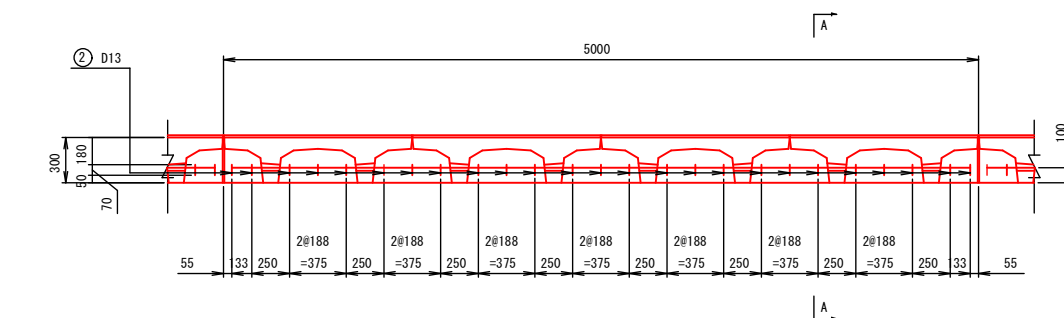
背面図 (C-C)

S=1 : 25

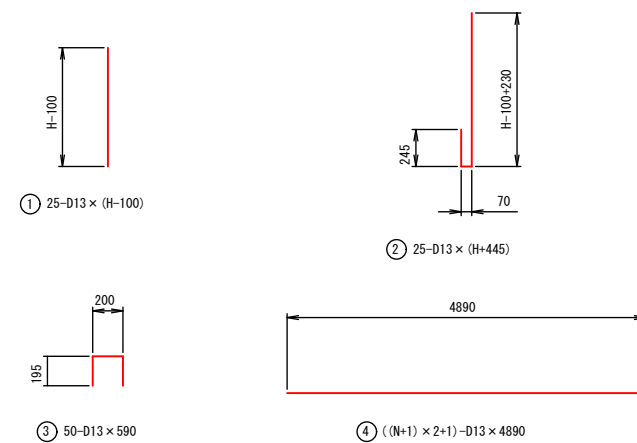


平面圖 (D-D)

S=1 : 25



鉄筋加工図



鉄筋重量表

5.0m当り

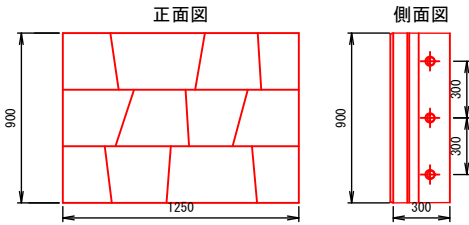
記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	形状
①	D13	500	25	0.995	0.50	12.50	┆
②	D13	1050	25	0.995	1.04	26.00	┆┐
③	D13	590	50	0.995	0.59	29.50	┆┐┐
④	D13	4890	7	0.995	4.87	34.09	┆┐┐┐
D13 - 102.09							kg

路線名	押名 2工区	線事業名	林道開設事業		
林道区分	森林管理道	級別区分	2級	設計速度	20 km/h
年 度	令和7年度	施行主体	香美市		
名 称	笠コンクリート一般配筋図 1 業中 1 番				
施 行 地	高知県香美市物部町岡ノ内				
縮 尺	1/25	審 査 者		設 計 者	
会 社 名					

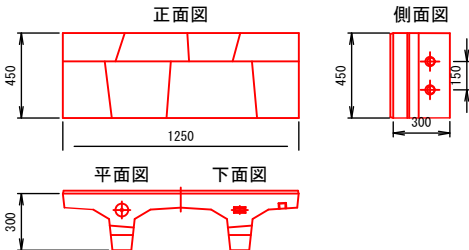
補強土壁工法部材詳細図

コンクリートパネル
S=1:20

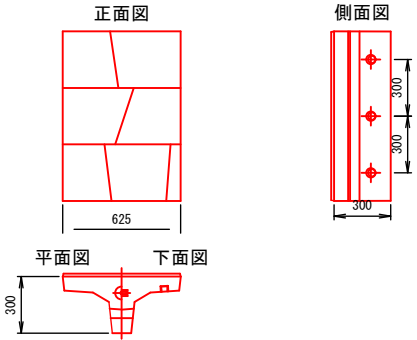
AP-900AR



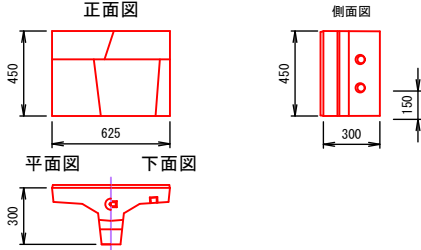
AP-900VH



AP-900WH



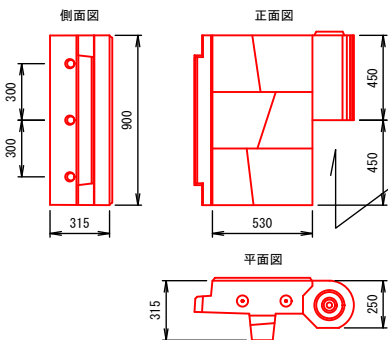
AP-900SQ



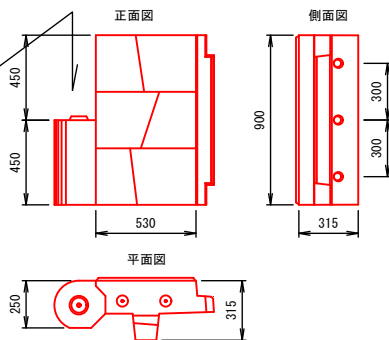
角度調整タイプ
S=1:20

H900タイプ

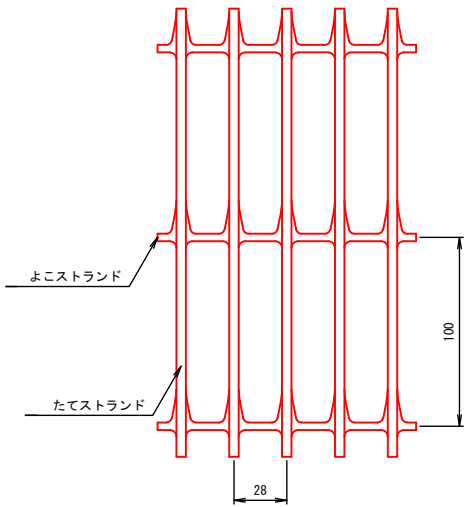
AP-900CR-L



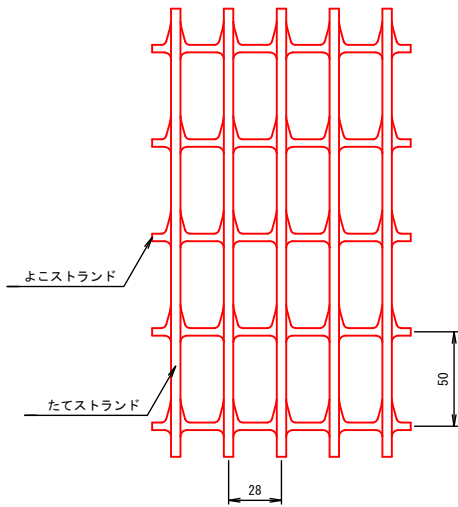
AP-900CR-R



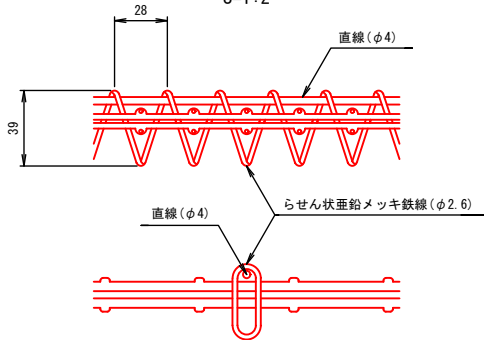
HG-36~HG-80



HG-100~HG-200

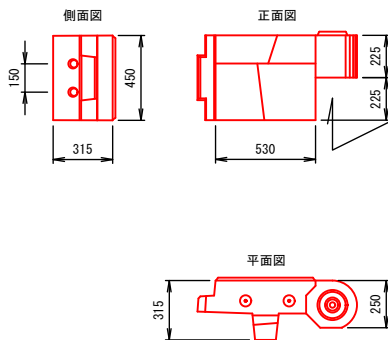


接続部詳細図
S=1:2

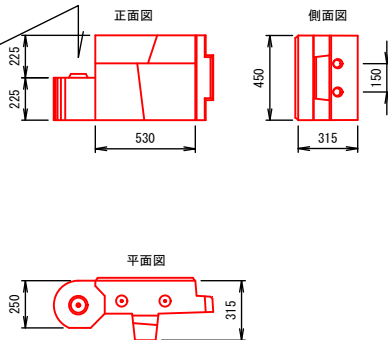


H450タイプ

AP-900CH-L

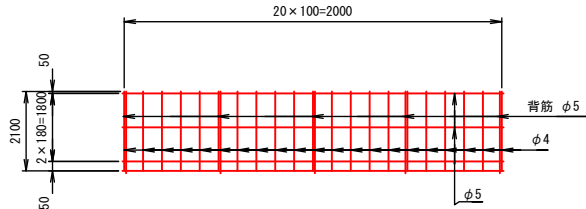


AP-900CH-R

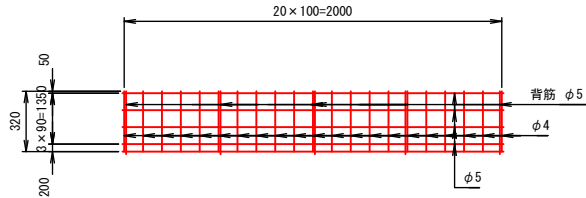


鋼製枠
S=1:20

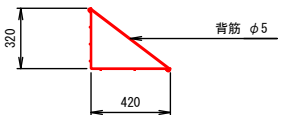
平面図



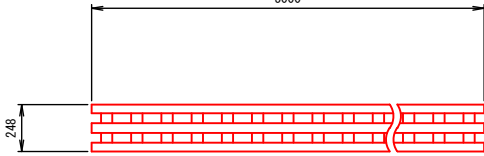
正面図



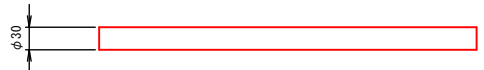
側面図



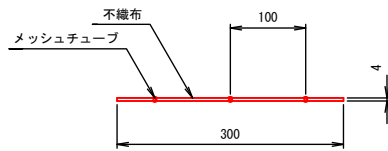
グリッドベルト
S=1:5
5000



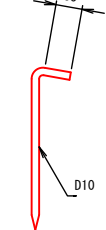
保護管
S=1:5



水平排水材
S=1:5



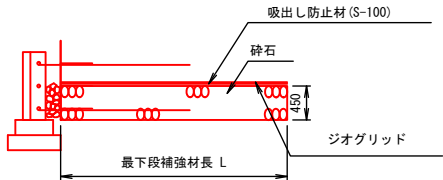
固定ピン
S=1:5



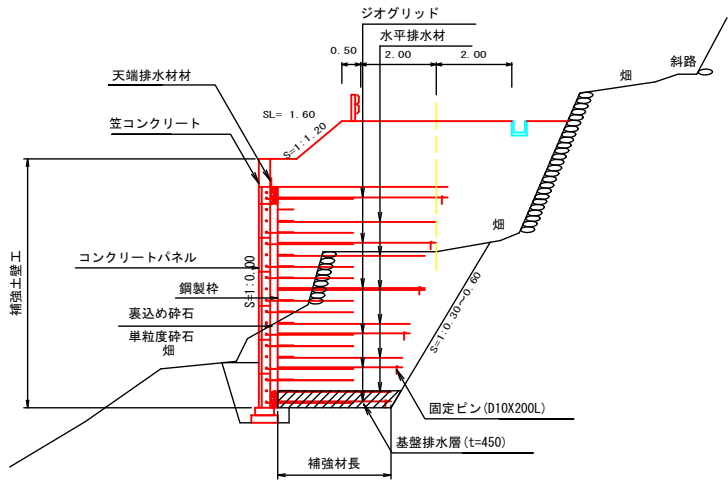
路線名	押谷 2工区	線業名	林道開設事業
林道区分	森林管理道	級別区分	2級
年度	令和7年度	施行主体	香美市
名称	補強土壁工法部材詳細図	1 案中	1 番
施行地	高知県香美市物部町内ノ内		
縮尺	1/100	審査者	設計者
会社名			

補強土壁工法構造図(1)

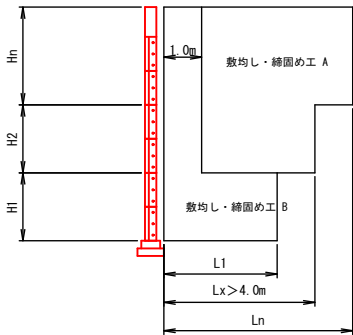
基盤排水層詳細図 S=1:50



標準断面図 S=1:100



土工区分図



- Lは鋼製枠前面からの距離とする。
- 鋼製枠前面から1.0mの範囲は数均し締固めBとする。
- 敷設長が4.0m程度より短い場合は、1.0m未満も数均し締固めBとする。
- 敷設長が4.0m程度以上の場合は、1.0m未満は数均し締固めAとする。

必要地耐力

タイプ	検討高	単位	常時	地震時	摘要
CASE1	H= 6.65m	kN/m ²	197.690	192.962	補強土下面
CASE2	H= 4.55m	kN/m ²	119.881	120.500	補強土下面

出来形管理基準（参考）

適用	管理項目	管理基準	頻度	備考
基盤工	基準高	±50mm	施工延長40m毎に1箇所 延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所	
外壁	基準高	±50mm		
	高さ H<3m	-50mm		
	H≥3m	-100mm		
	勾配精度	±0.03Hかつ±300mm以内		
補強材	敷設長さ	-0mm +150mm		
	敷設間隔	±0.10V (V:計画敷設層厚)		
切盛境排水工	幅・高さ	-0mm +50mm		
	管径	-0mm +50mm		
	模			
水平排水材	敷設長さ	-0mm +150mm		
	敷設間隔 縦	±0.10V (V:計画敷設層厚)		
	模	±100mm		

特記事項

盛土材条件	施工前に盛土材の土質試験を実施し設計定数の確認を行なうこと。 盛土材は、適切な含水比で施工されること。
地盤条件	良好な地盤、または、適切な処置が施された地盤とすること。 床掘り完了後に、所定の支持力を満足するか確認すること。
排水条件	適切な排水処理を施すこと。 施工時に予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行うこと。 施工中は、仮排水工を設けるなど盛土本体かつ壁面部へ水を導かないよう排水処理を行うこと。
壁面材	壁面材は、補強盛土体を長期的に保護できるコンクリート製品を用いること。 壁面材は、設計基準強度30N/mm ² 以上確保された材料とすること。
補強材	主補強材は、（一財）土木研究センターの技術審査証明制度の認定品とする。 曲線部、折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める措置を行うこと。 内曲りとなる施工区間において補強材が重なり合う場合は、ジオテキスタイルが相互に接触しない程度に盛土材料を挟むなどして、摩擦力を確保すること。
安全管理	安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守すること。

施工管理基準値（参考）

適用	管理項目	規格値	試験基準
盛土の締固め規定	品質規定 現場密度の測定	《締固め度》 1. 最大乾燥密度ρ dmaxの95%以上 (締固め試験JIS A 1210 A,B法) 2. 最大乾燥密度ρ dmaxの90%以上 (締固め試験JIS A 1210 C,D,E法) 2.の場合、標準の施工仕様よりも締固めエネルギーの大きな転圧方法に適用する。 《施工含水比》 最適含水比Woptと所定の締固め度が得られる湿潤側の含水比範囲	500m ² に1回の割合 ただし、1,500m ² 未満の工事は1工事当たり3回以上。

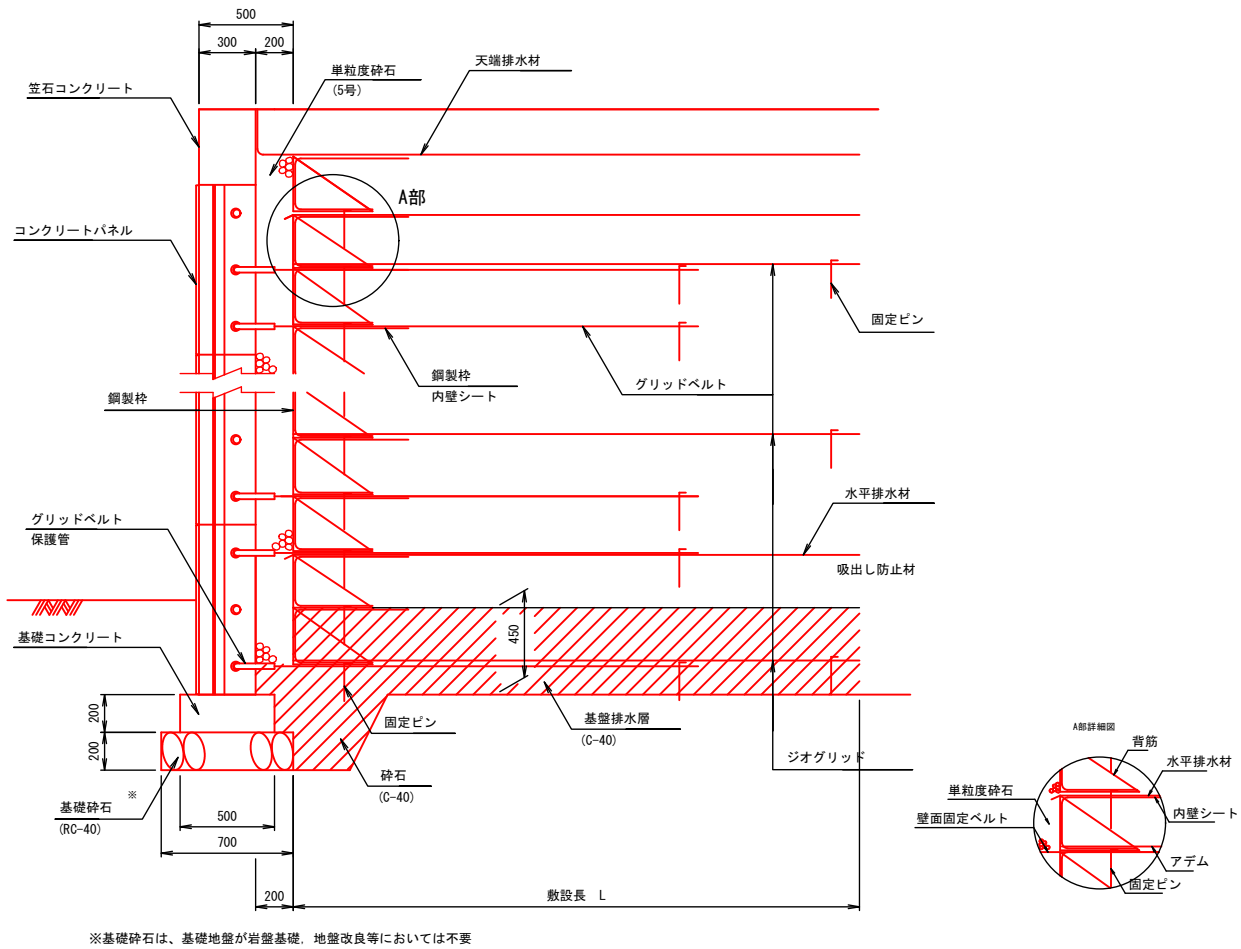
※現場における締固め試験を実施し、施工機械、締固め回数等の仕様を確認すること。
※施工管理基準値は、発注者の定める基準に従う。
特に指定が無い場合、または、発注者の定める基準値が上表と異なる場合は、発注者と協議のうえ管理値を定めること。

※出来形管理基準値は、発注者の定める基準に従う。
特に指定が無い場合、または、発注者の定める基準値が上表と異なる場合は、発注者と協議のうえ管理値を定めること。

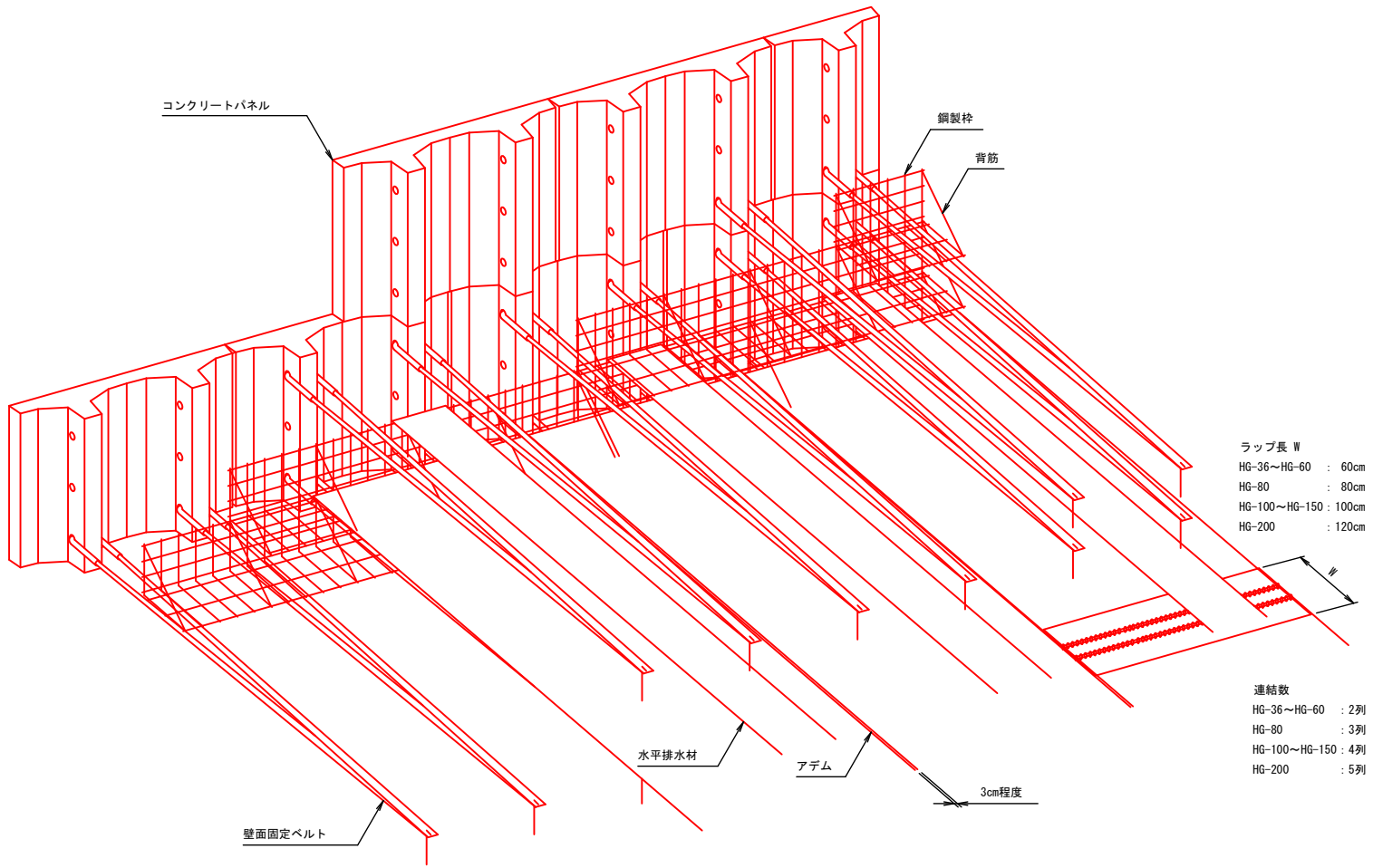
路線名	押谷 2工区		線事業名	林道開設事業		
林道区分	森林管理道	級別区分	2級	設計速度	20 km/h	
年度	令和7年度		施行主体	香美市		
名称	補強土壁工法構造図		3	案中	1	番
施行地	高知県香美市物部町岡ノ内					
縮尺	1/100	審査者		設計者		
会社名						

補強土壁工法構造図(2)

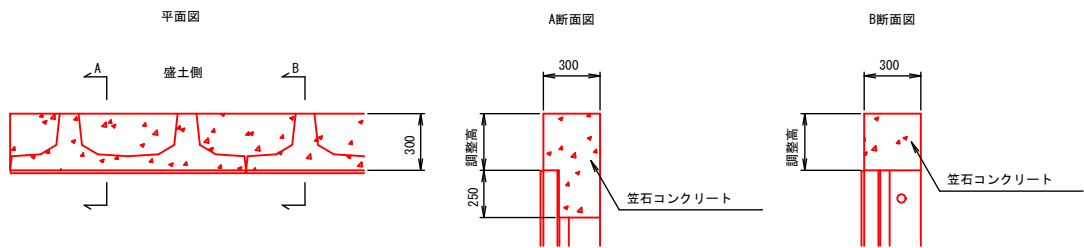
アダムウォール構造図
S=1:20



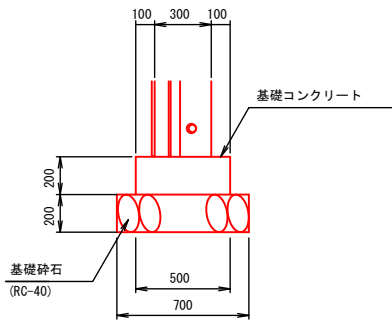
アダムウォール背面形状図



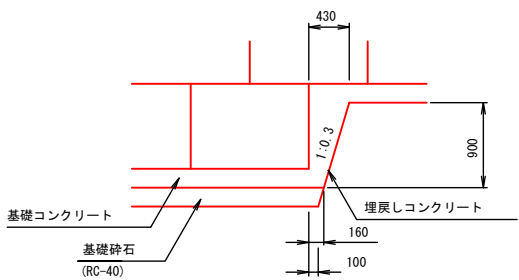
笠石コンクリート(有筋)
S=1:20



基礎工
S=1:20



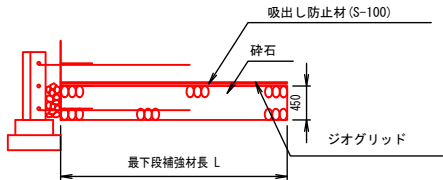
基礎工(段上り部)詳細図
S=1:40



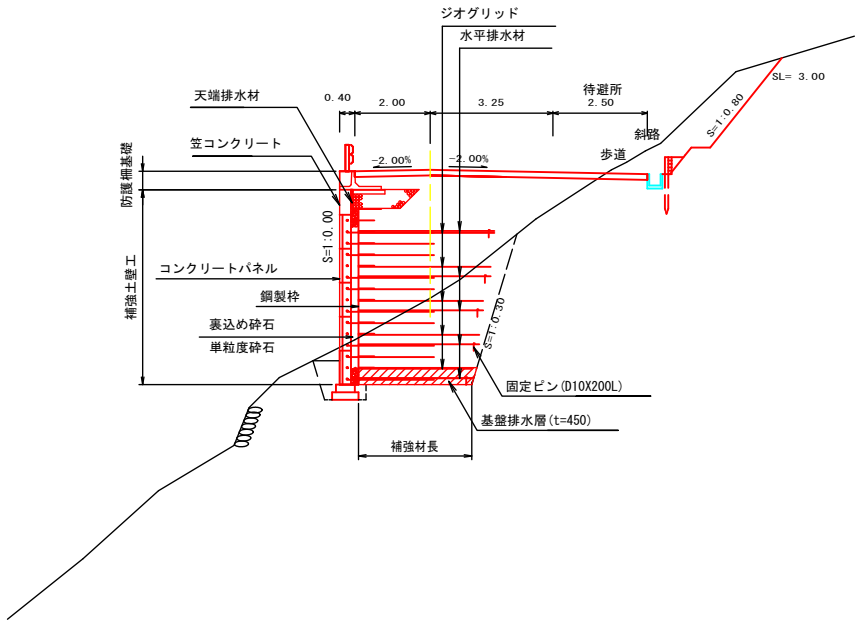
路線名	押谷2工区	総事業名	林道開設事業		
林道区分	森林管理道	級別区分	2級	設計速度	20km/h
年度	令和7年度	施行主体	香美市		
名称	補強土壁工法構造図	3	葉中	2	番
施行地	高知県香美市物部町岡ノ内				
縮尺	1/100	審査者		設計者	
会社名					

補強土壁工法構造図(1)

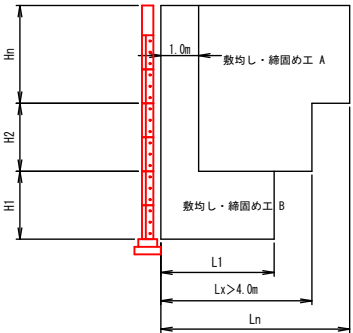
基盤排水層詳細図 S=1:50



標準断面図 S=1:100



土工区分図



- Lは鋼製枠前面からの距離とする。
- 鋼製枠前面から1.0mの範囲は敷均し・締固め工 Aとする。
- 敷設長が4.0m程度より短い場合は、1.0m以遠も敷均し・締固め工 Bとする。
- 敷設長が4.0m程度以上の場合は、1.0m以遠は敷均し・締固め工 Aとする。

必要地耐力

タイプ	検討高	単位	常時	地震時	摘要
CASE1	H= 5.88m	kN/m ²	142.861	132.373	補強土下面
CASE2	H= 3.98m	kN/m ²	61.551	69.279	補強土下面

出来形管理基準（参考）

適用	管理項目	管理基準	頻度	備考
基盤工	基準高	±50mm	施工延長40m毎に1箇所 延長40m以下のものは1施工箇所につき2箇所	
外壁	基準高	±50mm		
	高さ H<3m	−50mm		
	H≧3m	−100mm		
	勾配精度	±0.03Hかつ±300mm以内		
補強材	敷設長さ	−0mm +150mm		
	敷設間隔	±0.10V (V:計画敷設層厚)		
切盛境排水工	幅・高さ	−0mm +50mm		
	管径	−0mm +50mm		
	敷設長さ	−0mm +150mm		
	敷設間隔 縦横	±0.10V (V:計画敷設層厚) ±100mm		

特記事項

盛土材条件	施工前に盛土材の土質試験を実施し設計定数の確認を行なうこと。 盛土材は、適切な含水比で施工されること。
地盤条件	良好な地盤、または、適切な処置が施された地盤とすること。 床掘り完了後に、所定の支持力を満足するか確認すること。
排水条件	適切な排水処理を施すこと。 施工時に予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行うこと。 施工中は、仮排水工を設けるなど盛土本体かつ壁面部へ水を導かないよう排水処理を行うこと。
壁面材	壁面材は、補強盛土体を長期的に保護できるコンクリート製品を用いること。 壁面材は、設計基準強度30N/mm ² 以上確保された材料とすること。
補強材	主補強材は、（一財）土木研究センターの技術審査証明制度の認定品とする。 曲線部、折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める措置を行うこと。 内曲りとなる施工区間において補強材が重なり合う場合は、ジオテキスタイルが相互に接触しない程度に盛土材料を挟むなどして、摩擦力を確保すること。
安全管理	安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守すること。

施工管理基準値（参考）

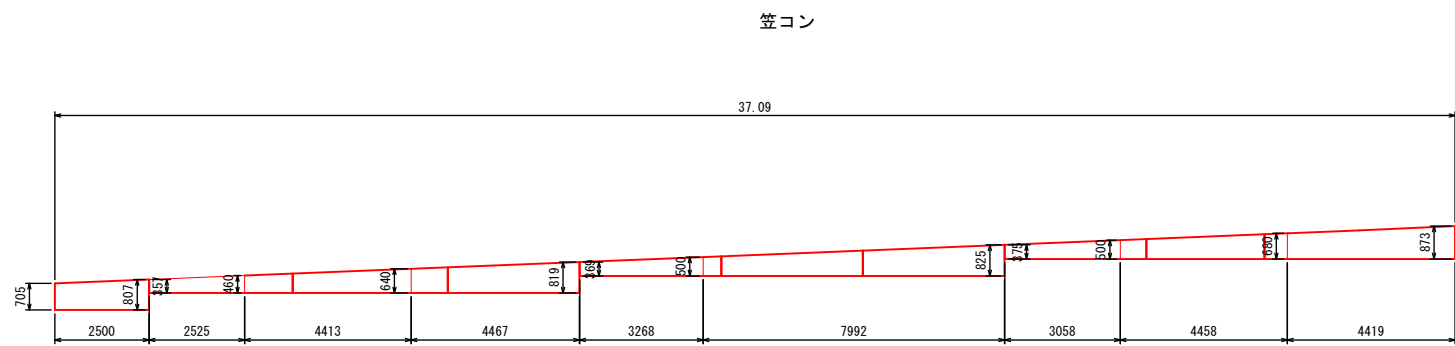
適用	管理項目	規格値	試験基準
盛土の締固め規定	品質規定 現場密度の測定	《締固め度》 1. 最大乾燥密度 ρ dmax の95%以上 (締固め試験JIS A 1210 A,B法) 2. 最大乾燥密度 ρ dmax の90%以上 (締固め試験JIS A 1210 C,D,E法) 2. の場合、標準の施工仕様よりも締固めエネルギーの大きな転圧方法に適用する。 《施工含水比》 最適含水比 Wopt と所定の締固め度が得られる湿潤側の含水比範囲	500m に1回の割合 ただし、1,500m 未満の工事は 1工事当たり3回以上。

※現場における締固め試験を実施し、施工機械、締固め回数等の仕様を確認すること。
※施工管理基準値は、発注者の定める基準に従う。
特に指定が無い場合、または、発注者の定める基準値が上表と異なる場合は、発注者と協議のうえ管理値を定めること。

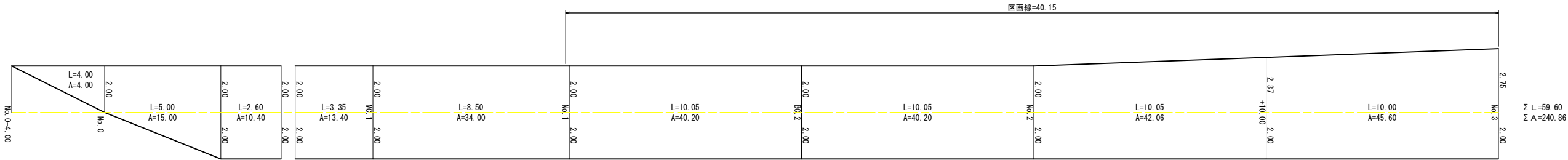
※出来形管理基準値は、発注者の定める基準に従う。
特に指定が無い場合、または、発注者の定める基準値が上表と異なる場合は、発注者と協議のうえ管理値を定めること。

路線名	押谷 2工区		線事業名	林道開設事業		
林道区分	森林管理道	級別区分	2級	設計速度	20 km/h	
年 度	令和7年度		施行主体	香美市		
名 称	補強土壁工法構造図		3 葉中	3 番		
施 行 地	高知県香美市物部町岡ノ内					
縮 尺	1/100	審査者	設 計 者			
会 社 名						

補強土壁工法数量根拠図 (No. 9～No. 14+10.00) 縮尺 1:100

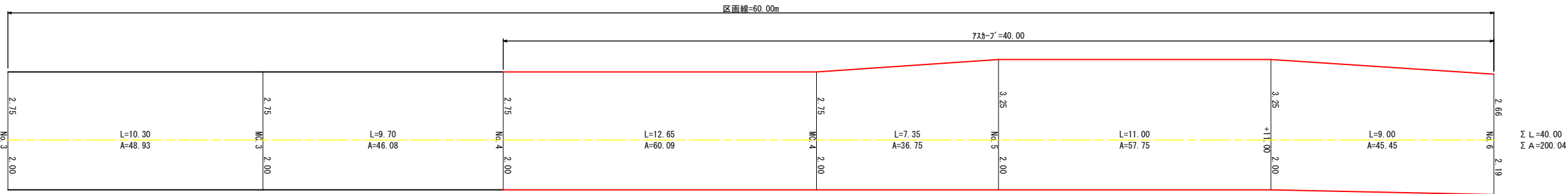


路線名	押谷2工区	線事業名	林道開設事業		
林道区分	森林管理道	級別区分	2級	設計速度	20 km/h
年度	令和7年度	施行主体	香美市		
名称	補強土壁工法数量根拠図 1 葉中 1 番				
施行地	高知県香美市物部町岡ノ内				
縮尺	1/100	審査者	設計者		
会社名					



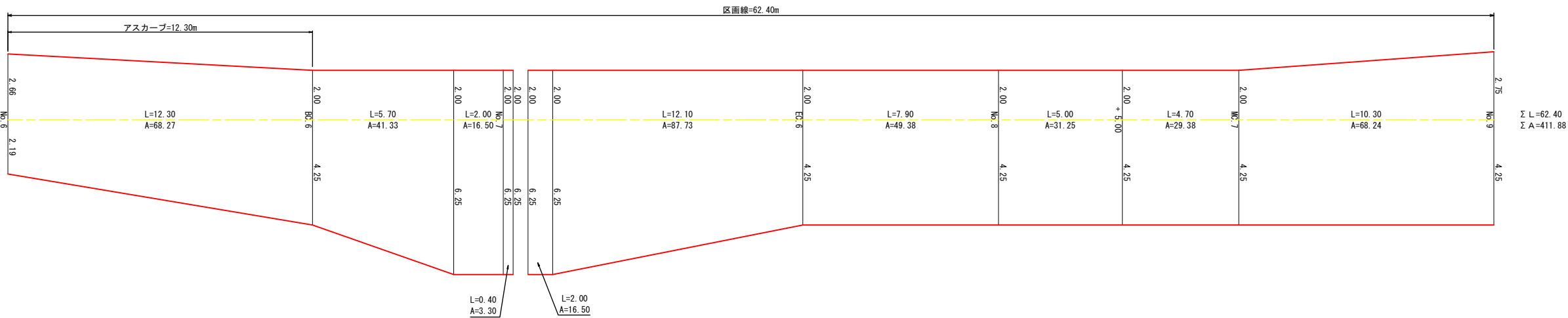
区画線 40.15

Σ L=59.60
Σ A=240.86



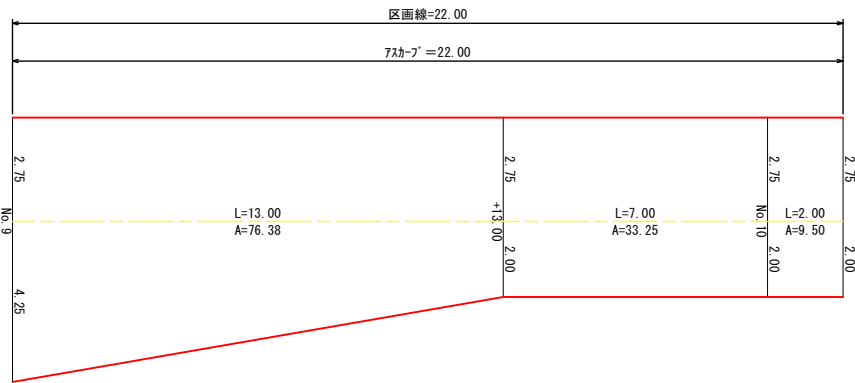
区画線 60.00

Σ L=40.00
Σ A=200.04



区画線 62.40

Σ L=62.40
Σ A=411.88



区画線 22.00

Σ L=22.00
Σ A=119.13

舗装工 A=200.04+411.88+119.13=731.05
区画線 L=(40.15+60.00+62.40+22.00)*2=369.10
72h-γ' L=40.00+12.30+22.00=74.30

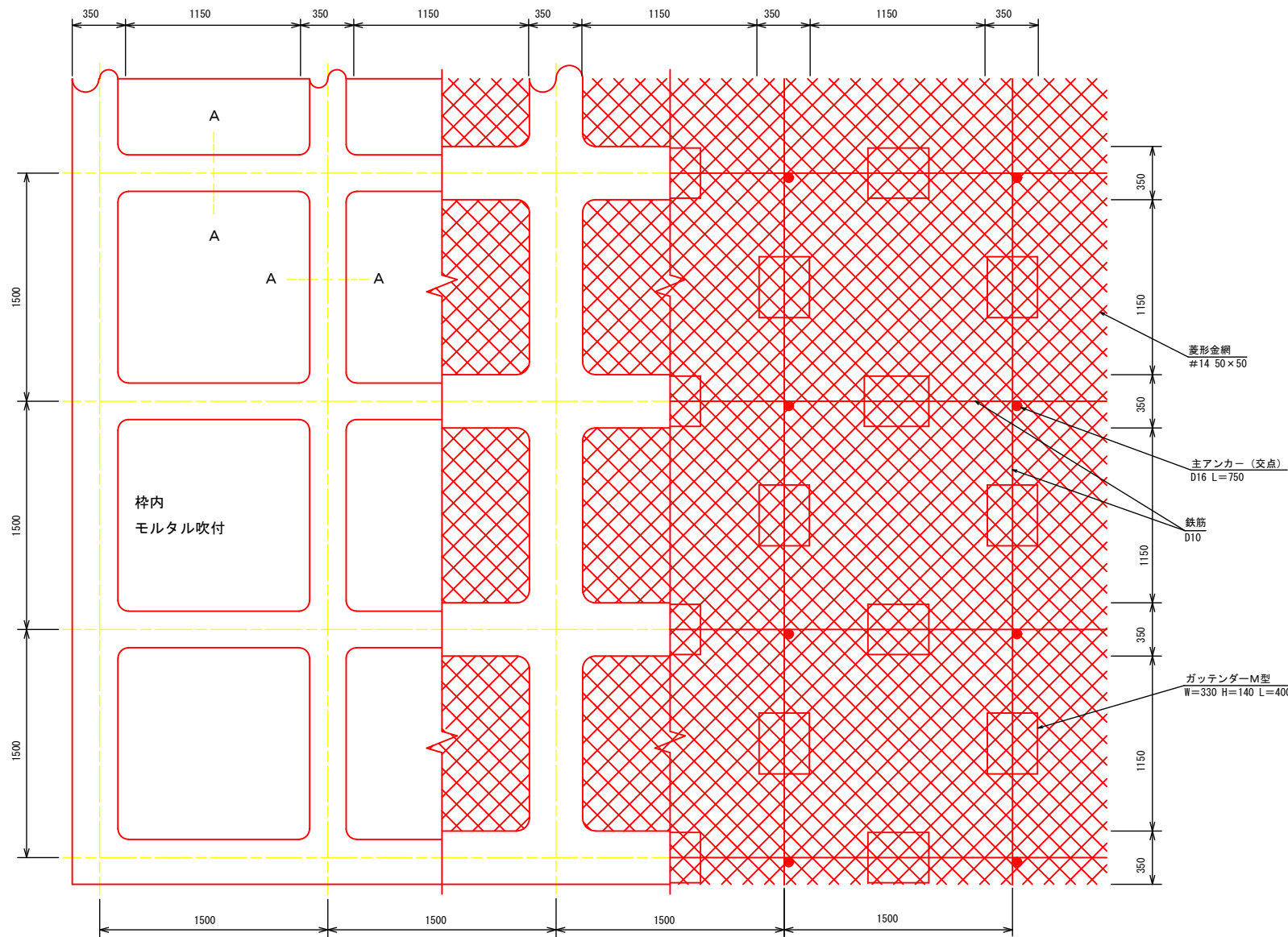
工種	区分	規格	数量	単位
舗装工	表層工	t= 4 cm	731.05	m2
	セメント安定処理	t= 12 cm	731.05	m2
	区画線		369.10	m
	アスカーブ		74.30	m

路線名	押谷 2工区	線業名	林道開設事業
林道区分	森林管理道	級別区分	2級
年度	令和7年度	施行主体	香美市
名称	舗装展開図 1 葉中 1 番		
施行地	高知県香美市物部町岡ノ内		
縮尺	1/100	審査者	設計者
会社名			

簡易吹付法枠工標準施工図
(ソイルクリートエ Mタイプ1500)

標準展開図

S=1:20



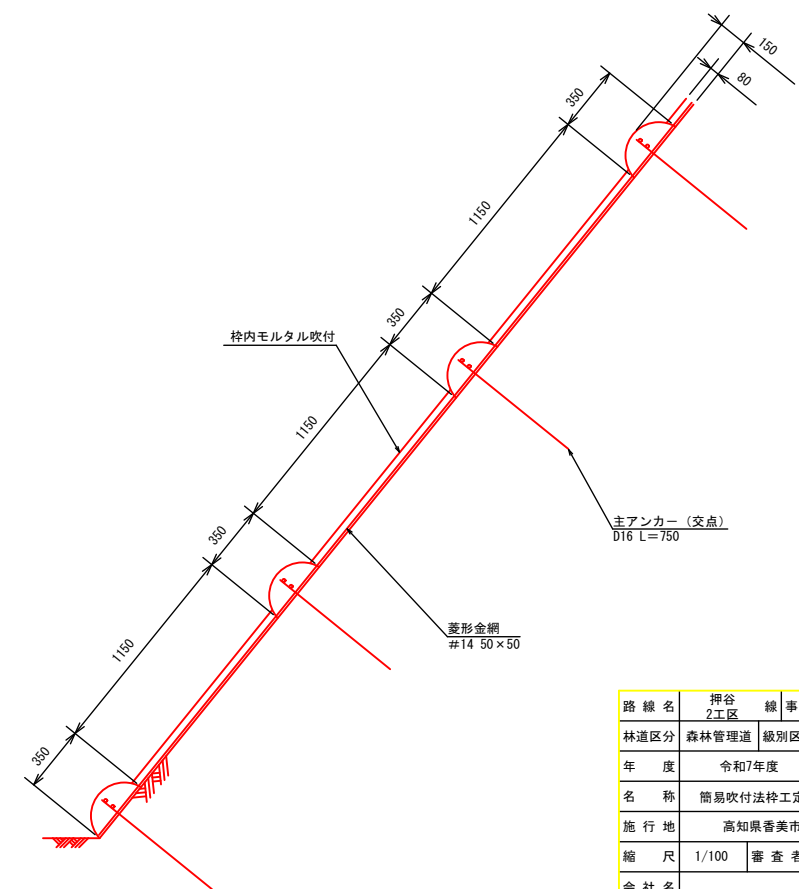
使用材料表

ソイルクリートエ Mタイプ1500
枠内モルタル吹付工 t=8cm

100m2当り			
材 料 名	規 格	単 位	数 量
菱形金網	#14 50×50	m2	100.0
アンカー	φ16 L=400	本	30
補助アンカー	φ9 L=200	本	150
鉄筋	D10	kg	161.4
主アンカー (交点)	D16 L=750	本	52
組立枠	ガッテンダーM型 W=330 H=140 L=400	個	94
枠用シート	Mタイプ1500用	枚	42.3
枠吹付量	NAF-6混入モルタル	m3	5.27
混入モルタル	セメント	kg	2213.4
	NAF-6	kg	5.3
	砂	m3	6.5
枠内モルタル吹付工	t=8cm	m2	55.90

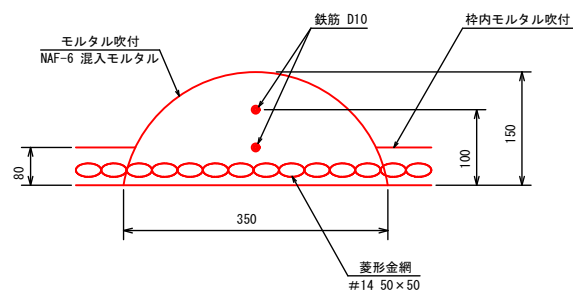
標準断面図

S=1:20



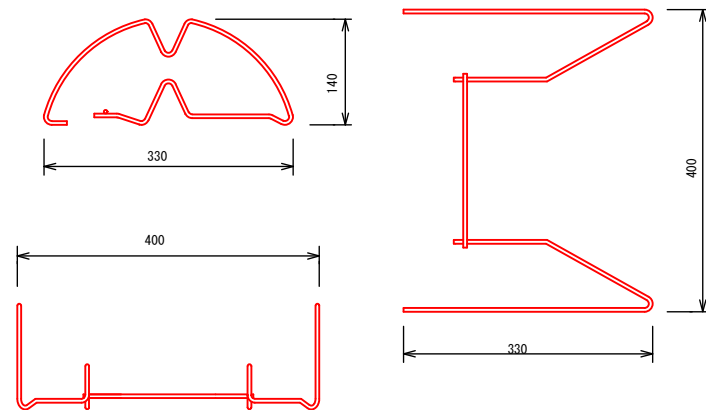
A-A断面

S=1:4



ガッテンダーM型部材模式図

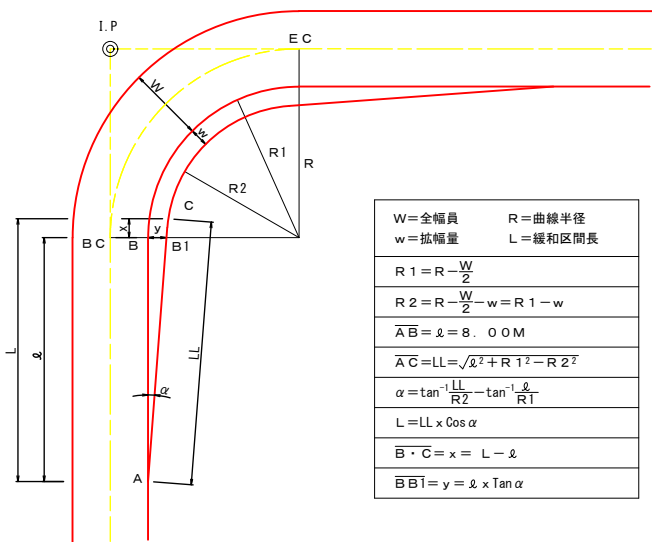
S=1:4



路線名	押谷 2工区	線 業 名	林道開設事業
林道区分	森林管理道	級別区分	2級
年 度	令和7年度	施行主体	香美市
名 称	簡易吹付法枠工定規図	1 葉中	1 番
施 行 地	高知県香美市物部町岡ノ内		
縮 尺	1/100	審 査 者	設 計 者
会 社 名			

2 級 定 規 図

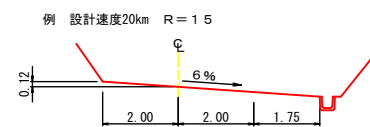
曲線部の拡幅



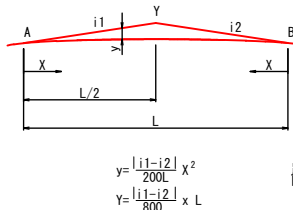
R	w	R1	R2	Δ	LL	L	x	y
12	2.25	10.00	7.75	8.00	10.19	9.88	1.88	2.01
15	1.75	13.00	11.25	8.00	10.32	10.13	2.13	1.54
18	1.50	16.00	14.50	8.00	10.48	10.34	2.34	1.31
20	1.25	18.00	16.75	8.00	10.37	10.27	2.27	1.10
25	1.00	23.00	22.00	8.00	10.44	10.38	2.38	0.87
30	0.75	28.00	27.25	8.00	10.27	10.24	2.24	0.66
35	0.50	33.00	32.50	8.00	9.84	9.82	1.82	0.45
40	0.50	38.00	37.50	8.00	10.09	10.07	2.07	0.44
45	0.25	43.00	42.75	8.00	9.24	9.24	1.24	0.23
50								

曲線部の片勾配

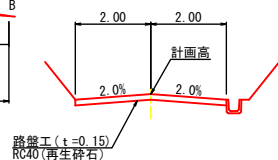
設計速度	曲半径 R=20未満	曲半径 R=20以上50未満
20Km	6%	3%



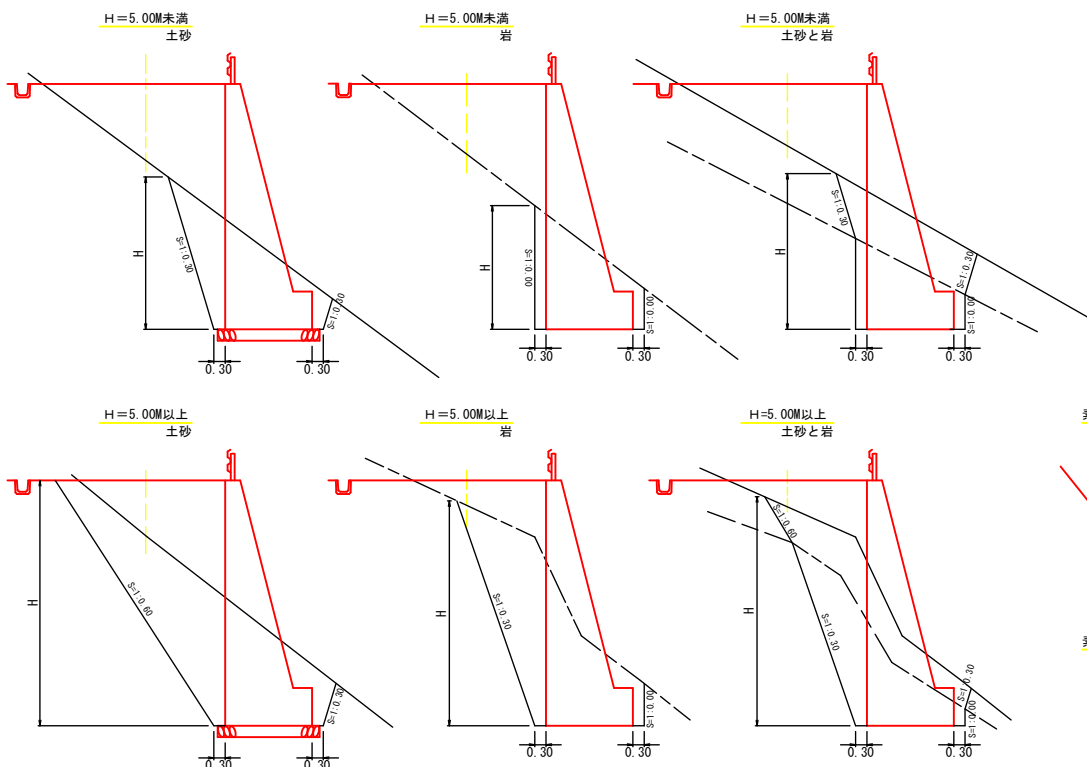
縦断勾配



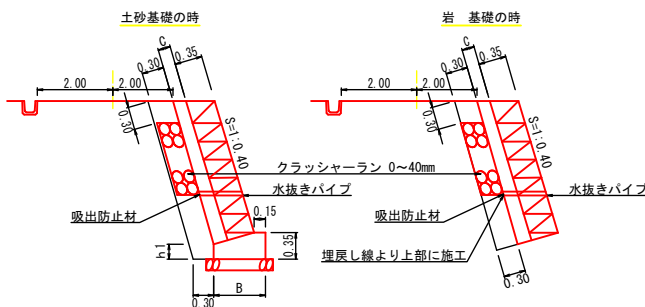
横断勾配
路盤工
(砂利道)



床掘法勾配

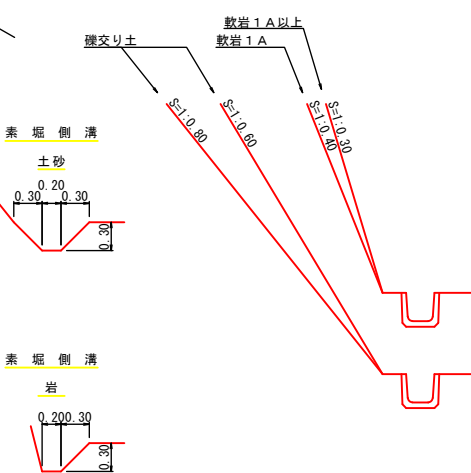


ブロック積工

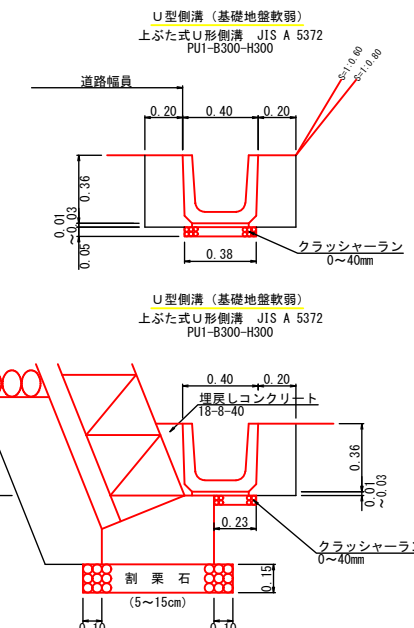
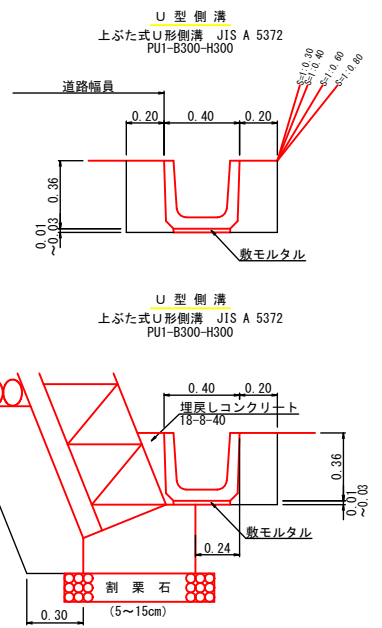


n	B	h1	C	コブ径	規格	敷積
0.40	530	200	50	1.57	5.50	7.30
	570	180	100	1.64	5.30	7.70
	620	160	150	1.72	5.10	8.20
	670	140	200	1.80	4.90	8.70

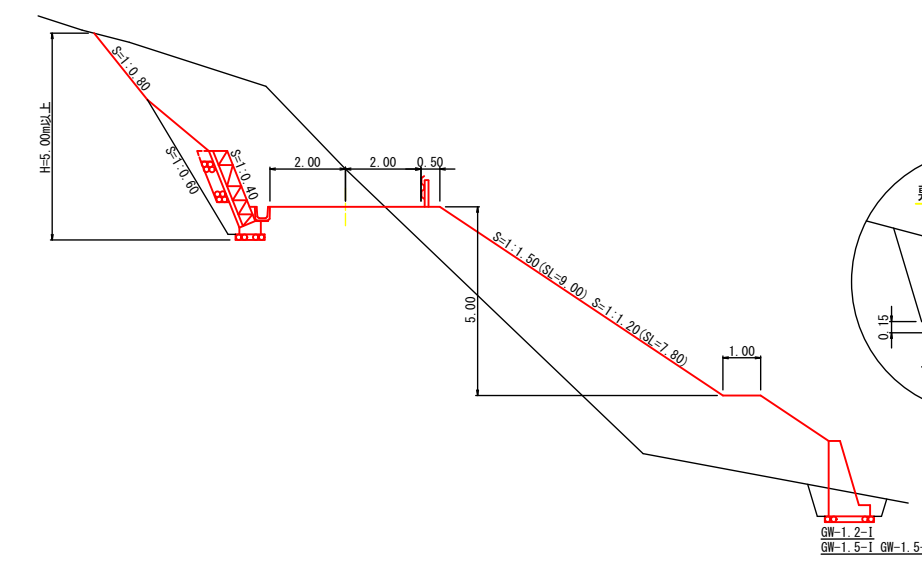
切取法勾配



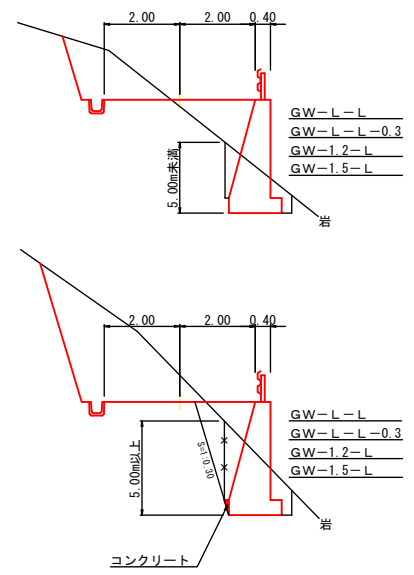
側溝



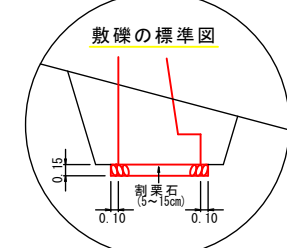
山留部の切取・土羽



前直擁壁 (背面岩) の取り扱いについて

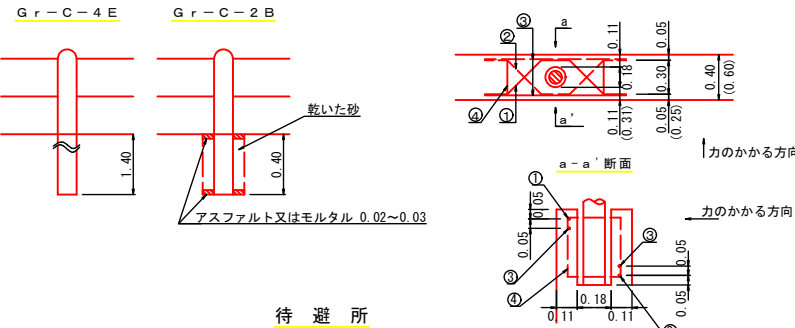


敷礫の標準図

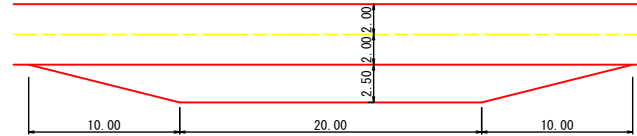


ガードレール

Gr-C-2B-3又はGr-C-2B-5は、プレート及びアンカー筋が付属し、一体施工の為、補強筋は必要なし



待避所



記号	径mm	長さm	本数	単位質量Kg/m	一本当り質量kg	質量Kg
①	D13	1.490	1	0.995	1.483	1.483
②	D13	1.490	1	0.995	1.483	1.483
③	D13	1.250	2	0.995	1.244	2.488
④	D13	1.420	2	0.995	1.413	2.826
計						8.280

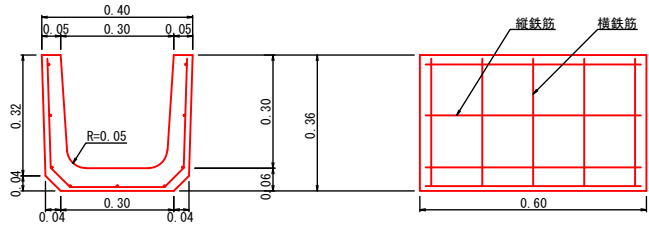
路線名	押谷	線 業 名	林道開設事業
林道区分	森林管理道	級別区分	2級
年度	令和7年度	施行主体	香美市
名称	標準図	3	葉中 1 番
施行地	高知県香美市物部町ノ内		
縮尺	1/100	審査者	設計者
会社名			

上ぶた式U形側溝 JIS A 5372

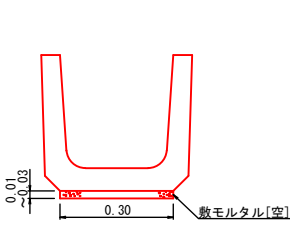
PU1-B300-H300

寸法・・・単位：m

断面図



側面図〔配筋図〕



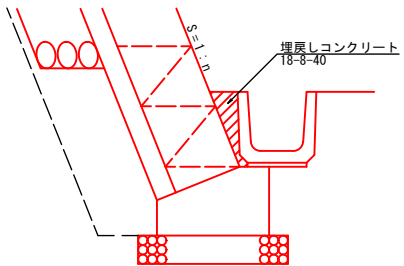
配筋

区分	L (mm)	縦鉄筋		横鉄筋	
		径 (mm)	本数 (本)	径 (mm)	本数 (本)
U 型	600	3.2	9	4.0	5

※ 注意事項

- 上ぶた式U形側溝は、JIS A5372を使用する。
- 目地モルタル間隔は、5mmを標準とする。

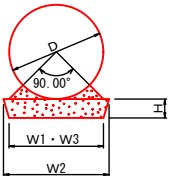
埋戻しコンクリート数量



n	10m当り 数量
0.30	0.22
0.35	0.25
0.40	0.29
0.45	0.33
0.50	0.36

コルゲートパイプ基礎工標準図

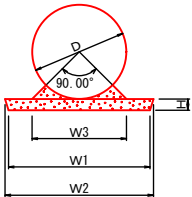
土砂基礎断面図



普通の土砂基礎の場合

D	H	W 1	W 2	W 3	基礎破
600	200	600	720	600	0.15
800	200	800	920	800	0.21
1,000	300	1,000	1,180	1,000	0.38
1,200	300	1,200	1,380	1,200	0.46
1,350	300	1,350	1,530	1,350	0.53
1,500	300	1,500	1,680	1,500	0.60
1,750	300	1,750	1,930	1,750	0.72
2,000	400	2,000	2,240	2,000	1.06
2,500	500	2,500	2,800	2,500	1.66
3,000	600	3,000	3,360	3,000	2.39

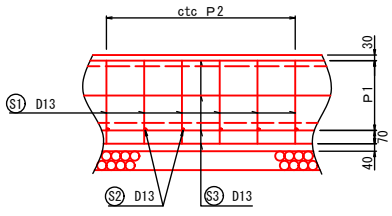
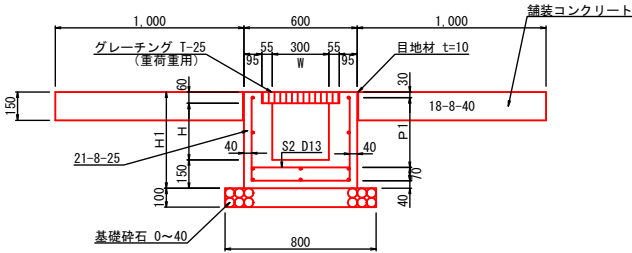
岩基礎断面図



岩盤基礎の場合

D	H	W 1	W 2	W 3	基礎破
600	200	900	1,020	600	0.21
800	200	1,200	1,320	800	0.29
1,000	200	1,500	1,620	1,000	0.37
1,200	200	1,800	1,920	1,200	0.45
1,350	200	2,025	2,145	1,350	0.51
1,500	200	2,250	2,370	1,500	0.58
1,750	200	2,625	2,745	1,750	0.70
2,000	200	3,000	3,120	2,000	0.83
2,500	200	3,750	3,870	2,500	1.10
3,000	200	4,500	4,620	3,000	1.39

横断排水溝 S=1:20

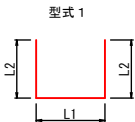


※ 注意事項

- 横断排水溝は鉄筋構造物とし、舗装コンクリートは無筋構造物とする。
- コンクリート強度は、横断排水溝については21-8-25を使用し、舗装コンクリートについては18-8-40とする。
- 横断排水溝の溝高が変化する場合は、上位の配筋とする。

形 状 寸 法 及 び 数 量													10m当たり		摘 要
W×H	H	H 1	P 1	P 2	コンクリート	型 枠	鉄筋D13	基礎砕石	グレーチング	縦コンクリート	舗装型枠	目地材	掘 削	基面整正	
300×240	240	450	2×155=310	200	1.73	15.00	189.05	8.00	10.00	3.00	3.00	3.00	8.30	26.00	路面排水用
300×300	300	510	2×185=370	200	1.91	17.40	195.02	8.00	10.00	3.00	3.00	3.00	8.90	26.00	
300×400	400	610	2×235=470	175	2.21	21.40	220.03	8.00	10.00	3.00	3.00	3.00	9.90	26.00	
300×500	500	710	2×285=570	150	2.51	25.40	253.41	8.00	10.00	3.00	3.00	3.00	10.90	26.00	

鉄筋加工表														10m当たり
		(S1) 型式 1					(S2) 型式 2				(S3) 型式 2			
W×H	径	本 数	L 1	L 2	Σ L	質 量	径	本 数	L 1	質 量	径	本 数	L 1	質 量
300×240	D13	50.00	520	380	1,280	63.68	D13	50.00	520	25.87	D13	10	10,000	99.50
300×300	D13	50.00	520	440	1,400	69.65	D13	50.00	520	25.87	D13	10	10,000	99.50
300×400	D13	57.14	520	540	1,600	90.97	D13	57.14	520	29.56	D13	10	10,000	99.50
300×500	D13	66.67	520	640	1,800	119.41	D13	66.67	520	34.50	D13	10	10,000	99.50



型式 2

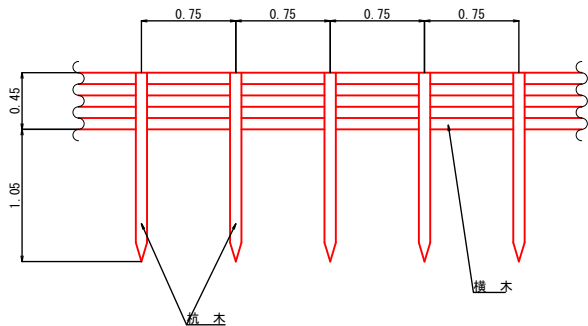


路線名	押谷	線 業 名	林道開設事業		
林道区分	森林管理道	級別区分	2 級	設計速度	2 0 km/h
年 度	令和7年度	施行主体	香美市		
名 称	標 準 図		3	葉 中	2 番
施 行 地	高知県香美市物部町岡ノ内				
縮 尺	図 示	審 査 者		設 計 者	
会 社 名					

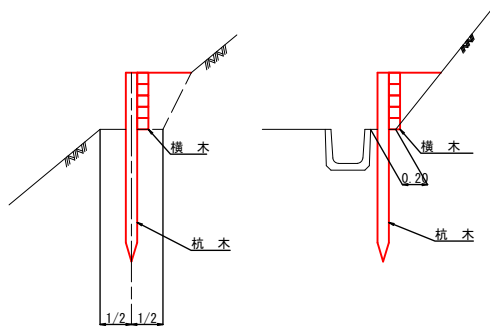
木柵工（角材）【治山・林道共通】

S=1/30

正面図

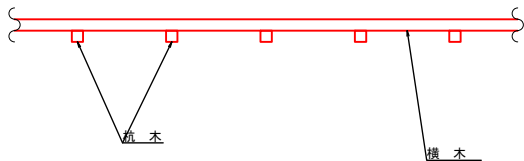


断面図



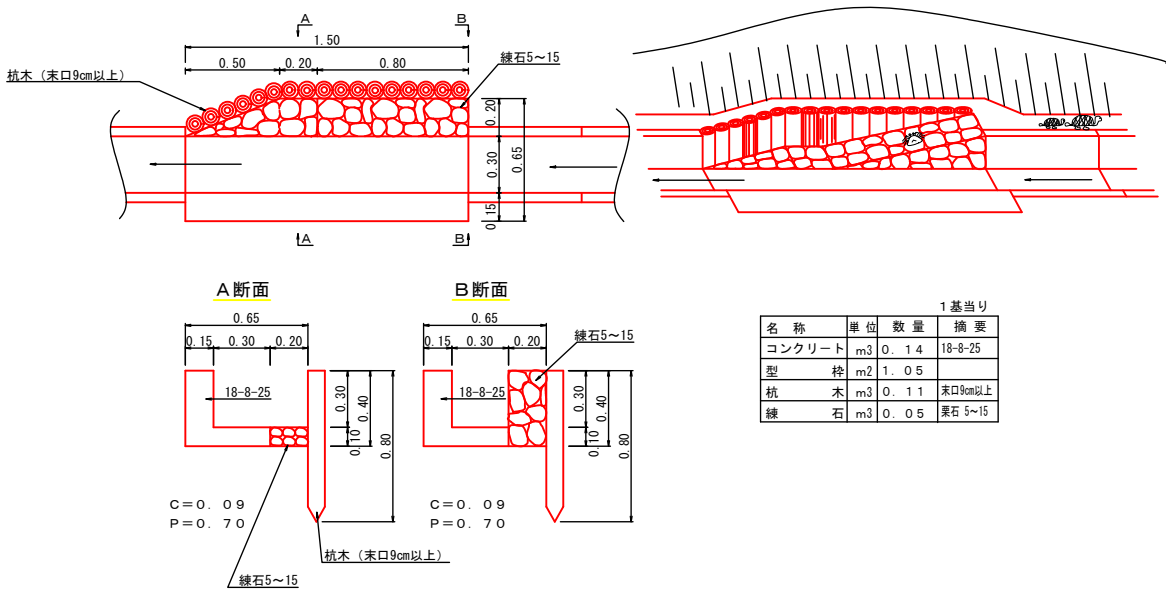
階段巾 0.30～0.80mで
杭は階段巾の二等分の位置とする。

平面図

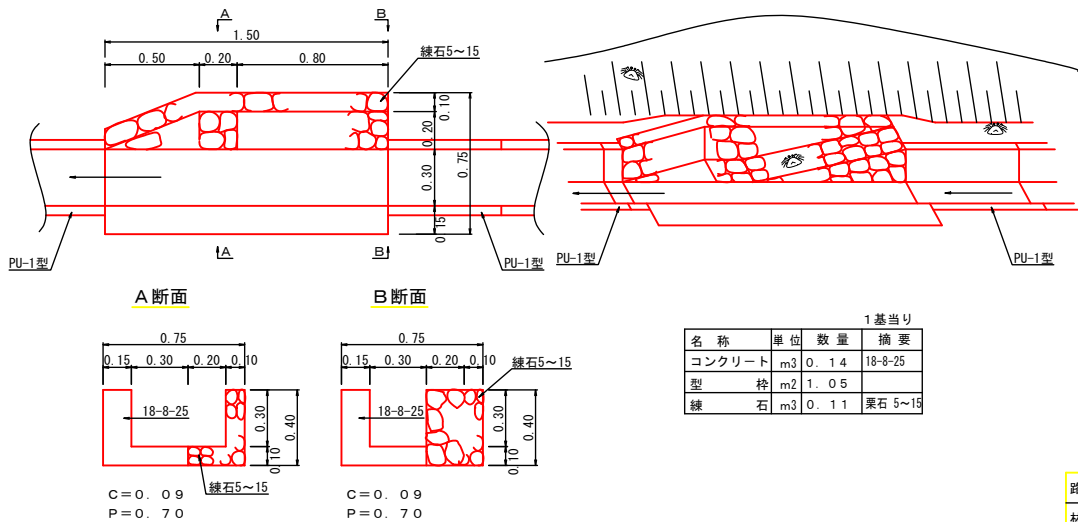


材 料 表		10m当たり		
名 称	規 格・寸 法	単 位	数 量	摘 要
杭 木	9cm×9cm L=1.50m (1.05m)	本	13.00	0.0122m ³ /本
横 木	9cm×9cm L=3.00m	〃	16.67	0.0243m ³ /本

小動物保護側溝
助っ人 ながのくん（土砂基礎用）
(Type 2) S=1/20



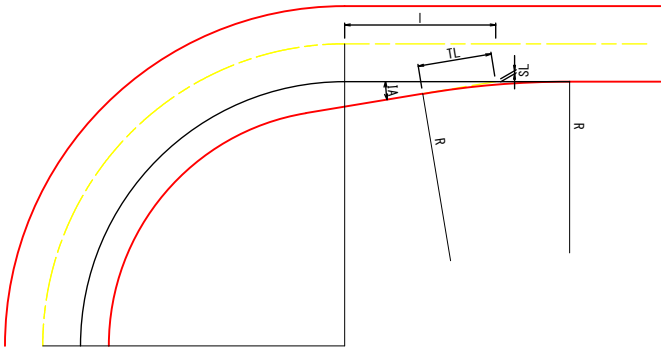
小動物保護側溝
助っ人 ながのくん（岩基礎用）
(Type 2) S=1/20



路 線 名	押谷	線 事 業 名	林道開設事業		
林道区分	森林管理道	級別区分	2 級	設計速度	2 0 km/h
年 度	令和7年度	施行主体	香美市		
名 称	木製品標準園		3	葉 中	3 番
施 行 地	高知県香美市物部町岡ノ内				
縮 尺	図 示	審 査 者		設 計 者	
会 社 名					

複合・背向曲線等拡幅すり付け参考図

緩和接線取付点カーブ図



1級

R	I A	T L	S L	R
15	5-02-45	4.00	0.09	90.8
18	3-22-57	4.00	0.06	135.5
20	1-44-42	4.00	0.03	262.7
24	1-42-58	4.00	0.03	267.1
25				

2級W=4.0m

R	I A	T L	S L	R
12	14-04-04	4.00	0.25	32.4
15	10-53-35	4.00	0.19	42.0
18	9-15-23	4.00	0.16	49.4
20	7-46-45	4.00	0.14	58.8
25	6-12-10	4.00	0.11	73.8
30	4-41-34	4.00	0.08	97.6
35	3-12-56	4.00	0.06	142.5
40	3-10-10	4.00	0.06	144.6
45	1-39-45	4.00	0.03	275.7
50				

2級W=3.6m

R	I A	T L	S L	R
12	14-04-04	4.00	0.25	32.4
15	10-53-35	4.00	0.19	42.0
18	9-15-23	4.00	0.16	49.4
20	7-46-45	4.00	0.14	58.8
25	6-12-10	4.00	0.11	73.8
30	4-41-34	4.00	0.08	97.6
35	3-12-56	4.00	0.06	142.5
40	3-10-10	4.00	0.06	144.6
45	1-39-45	4.00	0.03	275.7
50				

3級

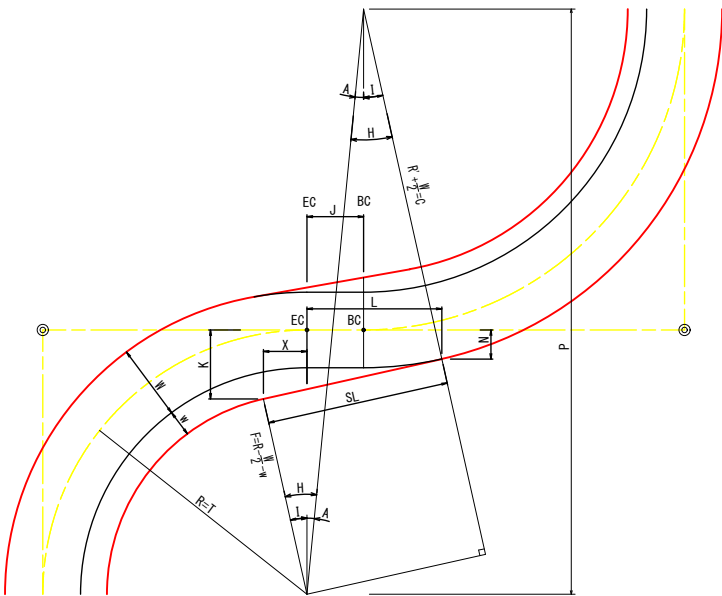
R	I A	T L	S L	R
6	12-49-44	4.00	0.22	35.6
8	12-16-39	4.00	0.21	37.2
10	9-12-59	4.00	0.16	49.6
12	8-55-42	4.00	0.16	51.2
15	6-05-26	4.00	0.11	75.2
18	5-55-04	4.00	0.10	77.4
20	5-48-13	4.00	0.10	78.9
25	3-05-16	4.00	0.05	148.4
30	3-00-30	4.00	0.05	152.3
35	2-57-07	4.00	0.05	155.2
40	2-52-52	4.00	0.05	159.1
45	2-49-34	4.00	0.05	162.2
50				

背向曲線

J < 緩和区間長X2

緩和区間長

1級・2級 = 8.00m
3級 = 4.00m

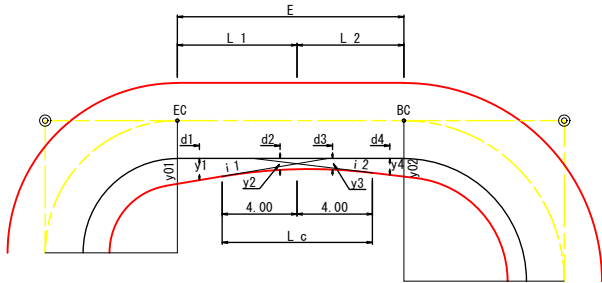


Sカーブ拡幅量計算式
$F=R-W/2-w$
$G=R+W/2$
$P=R+C-W/2$
$G=\sqrt{P^2+J^2}$
$A=\sin^{-1}(J/G)$
$D=F+C$
$H=\cos^{-1}(D/G)$
$I=H-A$
$K=R-F \times \cos I$
$X=F \times \sin I$
$N=P-C \times \cos I-R$
$L=C \times \sin I+J$
$SL=\sqrt{G^2-D^2}$
拡幅量 $a=K-W/2-X \times \tan I$
拡幅量 $b=K-W/2-(X+J) \times \tan I$

複合曲線

1・2級 E=4.00 ~ 16.00m
3級 E=4.00 ~ 8.00m

[] の値は、3級林道に適用



1. 緩和接線の傾斜度

i1=y01/L i2=y02/L

(Lは緩和区間長=8.00m)

2. 曲線中点までの距離

L1=(y01-y02+E・i2)/(i1+i2)

L2=(y02-y01+E・i1)/(i1+i2)

3. 各区間の拡幅量

y1=y01-i1・d1

y2=y01-i1・d2+(i1+i2)/(2・Lc)・(d2-(L1-Lc/2))^2

y3=y02-i2・(E-d3)+(i1+i2)/(2・Lc)・((L1+Lc/2)-d3)^2

y4=y02-i2・(E-d4)

※ Lc間の拡幅計算には、 $\frac{L1-i2}{2} \cdot X^2$ (縦断曲線式) を準用

4. 曲線区間長

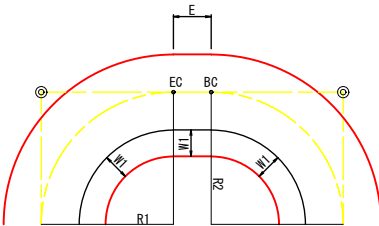
Lc=

L1及びL2が4.0m以上のときは、4.0×2

L1及びL2が4.0m~2.0mのときはL1又はL2×2

複合曲線

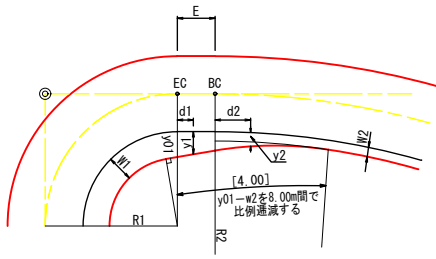
R1=R2
E=4.0 ~ 0.0m



複合曲線

R1≠R2
E=4.0 ~ 0.0m

[] の値は、3級林道に適用



1. EC~BC間の拡幅量

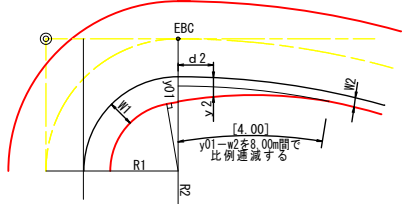
y1=y01-(y01-W2)/8.0・d1

2. BC~MC方向の拡幅量

y2=y01-(y01-W2)/8.0・(E+d2)

※: y01は一般拡幅式によるBC・ECの拡幅量

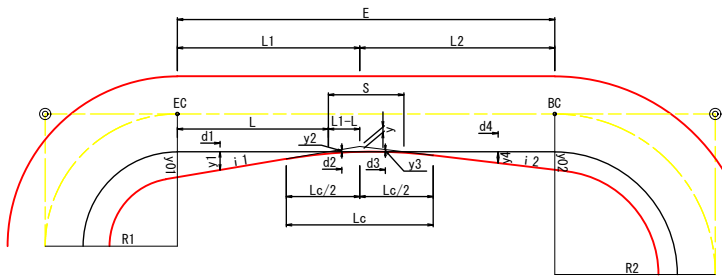
※: EC~MC方向の拡幅量は、一般式による。



複合曲線

1・2級 16.0m < E ≤ 24.0m
3級 8.0m < E ≤ 16.0m

[] の値は、3級林道に適用



1. 緩和接線の傾斜度

i1=y01/L i2=y02/L

(Lは緩和区間長=8.00m)

2. 曲線中点までの距離

L1=(y01-y02+E・i2)/(i1+i2)

L2=(y02-y01+E・i1)/(i1+i2)

3. 曲線中点でのy値

y=(L1-L)・i1

4. 縦断曲線のLcの値

$Lc=\frac{8}{1+1-12} \cdot y$

※但し、Lc<8.00mの場合は、Lc=8.00mとする。

注: Lcが8.00m 以上の場合は、道路幅員確保の為上記計算結果のLcの値を使用する。

5. 各区間の拡幅量

y1=y01-i1・d1

y2=y01-i1・d2+(i1+i2)/(2・Lc)・(d2-(L1-Lc/2))^2

y3=y02-i2・(E-d3)+(i1+i2)/(2・Lc)・((L1+Lc/2)-d3)^2

y4=y02-i2・(E-d4)

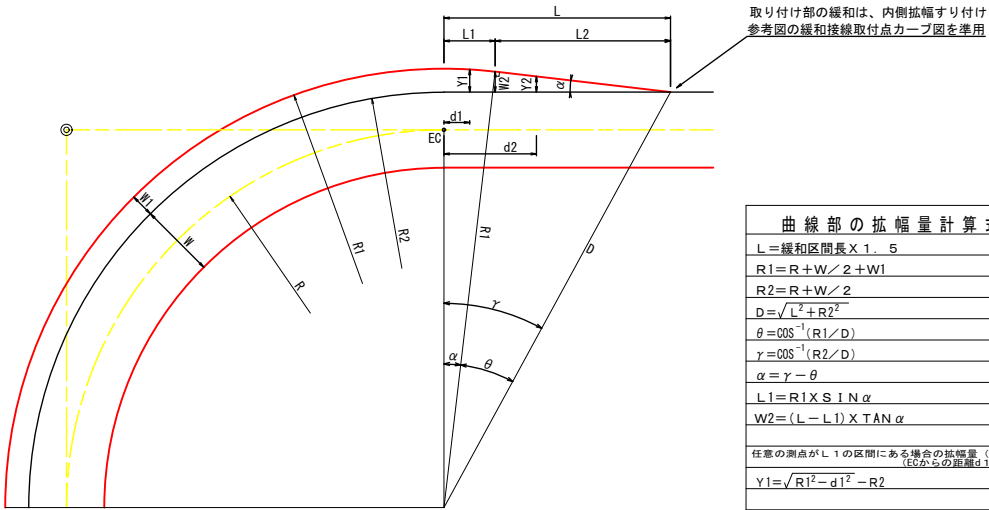
※ Lc間の拡幅計算には、 $\frac{L1-i2}{2} \cdot X^2$ (縦断曲線式) を準用

路線名	押谷	線事業名	林道開設事業
林道区分	森林管理道	級別区分	2級
年度	令和7年度	施行主体	香美市
名称	曲線すり付け図	1	葉中
施行地	高知県香美市物部町岡ノ内		
縮尺	図示	審査者	設計者
会社名			

外側拡幅に於ける、複合・背向曲線等拡幅 すり付け参考図

緩和区間長
1級・2級 = 8.00m
3級 = 4.00m

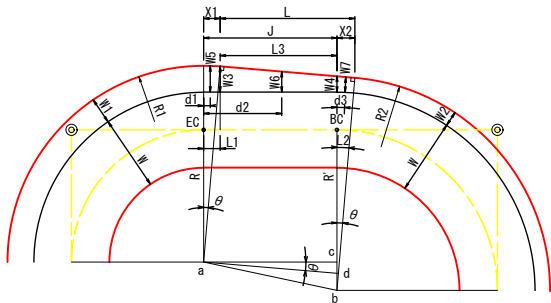
外側拡幅と直線とのすり付け



曲線部の拡幅量計算式	
L=緩和区間長×1.5	
R1=R+W/2+W1	
R2=R+W/2	
D=√(L²+R²²)	
θ=cos⁻¹(R/D)	
γ=cos⁻¹(R²/D)	
α=γ-θ	
L1=R1×sinα	
W2=(L-L1)×tanα	
任意の測点がL1の区間にある場合の拡幅量 (Y1) (ECからの距離d1)	
Y1=√(R1²-d1²)-R2	
任意の測点がL2の区間にある場合の拡幅量 (Y2) (ECからの距離d2)	
Y2=W2X(L-d2)/(L-L1)	

複合曲線

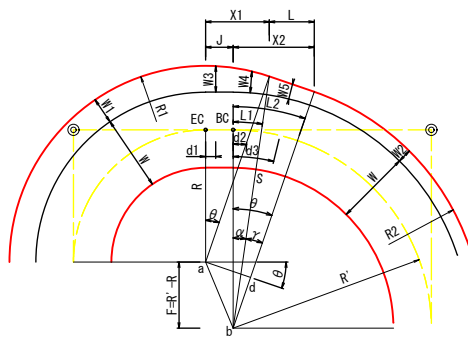
0<J≦緩和区間長×4倍
及びX1≦Jの場合



複合曲線拡幅量 計算式	
すり付け部の計算	
∠cab=V=90-tan⁻¹(J/F)	
ab=K=√(J²+F²)	
θ=V-(90-cos⁻¹((R2-R1)/K))	
X1=R1×sinθ	
X2=R2×sinθ	
L=J+X2-X1	
L1=X1 ; L3=L-X2	
L2=R'×π/180×θ	
W3=R1×cosθ-R-W/2	
W4=R2/cosθ-R'-W/2	
中間測点がX1間にある場合	
W5=W1-d1²/(2×R1)	
中間測点がL3間にある場合	
W6=W3-(W3-W4)×(d2-X1)/L3	
中間測点がγの角度内にある場合	
I'=d3/(R'×π/180)	
W7=R2/cos(θ-I')-R'-W/2	

複合曲線

0<J≦緩和区間長×4倍
及びX1>Jの場合



複合曲線拡幅量 計算式	
すり付け部の計算	
∠cab=V=90-tan⁻¹(J/F)	
ab=K=√(J²+F²)	
θ=V-(90-cos⁻¹((R2-R1)/K))	
X1=R1×sinθ	
S=√(K²+R1²-2×K×R1×cos(V+90-θ))	
α=sin⁻¹((X1-J)/S)	
X2=R2×sinθ	
L1=R'×π/180×α	
L2=R'×π/180×θ	
中間測点がEC~BC間にある場合	
W3=W1-d1²/2R1	
中間測点がαの角度内にある場合	
I=d2/(R'×π/180)	
β=sin⁻¹((K×sin(90-V+I)/R1)	
W4=K×sin(90-β+V-1)/sinβ-R'-W/2	
中間測点がγの角度内にある場合	
I'=d3/(R'×π/180)	
W5=R2/cos(θ-I')-R'-W/2	

背向曲線
(タイプ1)

すり付けを行う互いの曲線 (R1・R2) の交点が2点ある場合
(曲線R1・R2間に接線が存在しない場合)

Sカーブ拡幅量計算式	
すり付け終了点の計算	
W'=W1-W2	
cos I=1-W'/R2	
L=R2×sin I	
L1=R'×π/180×I	
EC~BC間の拡幅量	
拡幅量=W1	
すり付け区間内 (L) の拡幅量	
A=L2/(R'×π/180)	
P=R'-W/2-W1	
W3=R'-W/2-P/cos A	

